

最先端の技術を使って
暮らしに新しい便利さや楽しさを
ビジネスに創造性や高い生産性を実現すること。
それが、人と技術の理想をめざす
日立の「インターフェイス」の願いです。

Interface

インターフェイスは、"人と技術の理想をめざす"日立のスローガンです。

株式会社 日立製作所　宣伝部 〒101-10 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 電話(03)258-1111(大代)

男子世界選手権大会報告

日本は15位、優勝はスウェーデン

2月28日から3月10日までチェコスロバキアで行なわれた男子世界選手権大会は、16か国が参加したが、日本は残念ながら健闘及ばず15位に終った。優勝は強豪・ソ連を破ったスウェーデンが飾った。

試合成績

▼予選リーグ

東ドイツ26（18－7、8－15）22日本

〔得点者〕田口2、玉村5、宮下1、酒巻1、山村4、首藤3、斉藤4、中山2。

〔戦評〕前半立ち上がり4連続と中盤の8連続失点で11点差をつけられ折り返す。

後半になると動きも良くなり、7点差を縮めるが、ナショナルマッチの11点差はあまりにも大きく、4点差で終了した。

〔分析〕オランダカップで戦った時とほぼ同じメンバーであり、両サイドと右45度（197㎝左腕）ボルシャルトと左45度バールが中心のチームである。試合巧者ではあるが爆発力は感じられず、今後も今の状態が続きそうである。やはりバールに替るフローターの育成が課題である。

ソ連35（16－14、19－2）16日本

〔得点者〕田口1、玉村4、宮下3、山村1、首藤2、斉藤1、中山4。

〔戦評〕前半だけ見ると、攻守とも動きが良く、中盤すぎまで3点リードしていたが、ソ連も本来の動きが出てきて逆転され、2点差で折り返す。

後半になると全く動きが止まり、2得点しかできず19点差で終了した。前半の動きからは考えられないような結果であった。

〔分析〕今大会の優勝そこ逃したが、実力的には世界ナンバーワンである。特に右45度ツナキンの攻撃力はすばらしく、動き、得点力ともナンバーワンである。その他の選手も2mを超えているとは思えない動きスピードは迫力を感じた。ただし、日本戦の前半、スウェーデン戦の後半でのイージーミスからつけ入る隙はある。

ポーランド25（12－11、13－6）17日本

〔得点者〕玉村5、宮下1、酒巻1、河原1、山村3、斉藤1、中山5。

〔戦評〕両国ともこれに負けると準決勝リーグに残れないため、前半より一進一退のゲームとなり、前半を1点差で折り返す。

後半立ち上がり、日本のシュートミスにより4連続失点し勝負が決まった。勝負どころになると、攻撃のミスが出て相手の速攻を許す悪いリズムの典型的なゲームであり、終盤から追い上げるが時すでに遅く、5点差で終了した。

〔分析〕これといった特徴はないが、両サイドとポストにボールを入れ確実に得点するが、迫力のあるポイントゲッターはおらず、今後も今の状態が続きそうである。

▼13～16位決定リーグ

スイス22（15－3、7－9）12日本

〔得点者〕荷川取1、酒巻1、河原1、甲斐3、山村2、首藤1、斉藤2、魚住1。

〔戦評〕宮下、玉村の両エースを除いた布陣で臨んだためある程度の劣勢は考えられたが、前半の3得点では勝負にならず、後半はひらきなおりか、攻守とも動きが出て若干差を縮めたが、前半の12点差を10点差としたにとどまった。

〔分析〕体格的には大きいが、あまり強さは感じられなかった。ただし両サイドと右45度レビンの得点力は見るものがあり、環境的にも恵まれ、今後理にかなった攻撃と経験を積むと強いチームになる可能性は十分にある。

日本21（10－10、11－10）20アルジェリア

〔得点者〕酒巻1、山村3、首藤5、斉藤2、武田3、中山7。

〔戦評〕体格的にも同じくらいであり、やりやすいこともあり、前半の立ち上がり3連続失点するが、盛り返し、前半を同点で折り返す。

後半になっても一進一退のゲームとなったが、中山の5得点の活躍と終了3秒前のポストノーマークシュートをGK橋本の好守により1点差で辛勝した。

〔分析〕体格的にも年齢的にも日本と同じくらいであるが、日本に対してはアタック・ディフェンスをしなかった。ただし、優勝したスウェーデン戦の1点差やその他の試合も接戦であり、粘りのあるチームである。

キューバ23（10－13、13－7）20日本

〔得点者〕田口1、酒巻2、河原2、山村3、首藤7、斉藤1、魚住1、中山3。

〔戦評〕前半はGKの好守と相手のまずい攻撃にも助けられ3点リードで折り返す。

後半立ち上がり攻撃のミスにより5点連続失点し、逆転され、その後両チーム退場者を後半だけで10名出し乱戦となるが、後半立ち上がりの差を縮めることができず3点差で終了した。

〔分析〕レギュラーの平均身長が194～195㎝であり、ソ連に匹敵するが、攻守とも迫力は感じられなかった。ただし、ポイントゲッター13番（2m、100kg）は年齢は25歳と若いが経験もあり、展開力もあり、うまくチームがまとまると世界でもトップチームになる可能性を秘めている。

〔順位〕①スウェーデン②ソ連③ルーマニア④ユーゴ⑤スペイン⑥ハンガリー⑦チェコスロバキア⑧東ドイツ⑨フランス⑩アイスランド⑪ポーランド⑫韓国⑬スイス⑭キューバ⑮日本⑯アルジェリア

男子世界選手権大会派遣選手団

団長	渡辺佳英	大崎電気工業
監督	津川昭	湧永製薬
コーチ	蒲生晴明	大同特殊鋼
コーチ	喜井美雄	本田技研鈴鹿
ドクター	米沢元実	浜脇病院

選手		氏名	生年月日	身長	体重	所属
G・K	1	矢内　浩	1960. 8. 1	189cm	85kg	大崎電気工業
	12	橋本行弘	1965. 9.17	185	80	本田技研鈴鹿
	16	秋吉哲男	1965. 7.27	190	86	大同特殊鋼
F・P	2	田口　隆	1961. 7.23	184	78	本田技研鈴鹿
	3	玉村健次	1961. 1.16	182	77	湧永製薬
	4	宮下和広	1961. 8. 6	187	87	大崎電気工業
	5	荷川取義浩	1961.12. 4	185	93	湧永製薬
	6	酒巻清治	1962. 5. 7	180	74	湧永製薬
	7	河原隆雅	1964. 1. 3	180	76	湧永製薬
	8	甲斐章義	1966. 4.22	183	73	大崎電気工業
	9	山村敏之	1964. 7. 9	177	73	本田技研鈴鹿
	10	首藤信一	1965. 1.10	186	84	大崎電気工業
	11	斉藤慎太郎	1965. 8. 3	188	78	山形教員
	13	魚住和彦	1966.10.24	188	75	大崎電気工業
	14	武田大伸	1964. 3.24	182	76	日新製鋼
	15	中山　剛	1969. 7. 4	191	75	福岡大学

○現地でのトレーニング、コンディショニング

・スイスでは、時差ボケと長時間の移動による疲れから集中力に欠け、1試合目は良くなかったが、その後は天候にも恵まれ、2試合目は同点で終り、いい調整ができた。

・チェコに入り、長時間の移動の疲れと天候の変化からか風邪が続出し、最悪のコンディションであった。

○状況分析

・体格的には劣るものの、守りは2m前後のポスト対応以外は悪くなかった。どの試合も前半、後半の動きの差が激しすぎ、精神的なもろさからくると思われる。攻撃のミスより得点ができず、連続失点を許して勝負が決まってしまった。

○成果

・守りでは2m前後のポストの対応以外はよく守れたこと。

・若手ロング中山が東ドイツ2、ソ連4、ポーランド5、アルジェリア7、キューバ3とコンスタントに得点でき、ある程度世界に通用したこと。

○反省

・今回はあわよくば8位以内に入りバルセロナ五輪出場権を得ることであったが、選手への健康管理ミスにより風邪が続出してベストの状態ではなかったこと。

・13～16位決定リーグではベテランをはずし若手で臨んだが、期待するほどの成果を生むまでには至らなかった。

○今後の課題

・選手の薄さ、特に宮下、玉村に替るフローターの育成と中央4人の守りの強化、育成。

・ボール、ゴールへの執念、特にシュート確率を60％以上にしないとナショナルゲームには勝つことは困難である。

・平常心を植えつける。練習でやったことを試合でできるよう、自信、確信ができるまでいろいろな場面、場面を想定し、くり返し練習、訓練し、自信を持たせる。

・精神的なもろさを改善する。精神的には強化訓練を実施する。

第21回全日本実業団トーナメント大会

中村荷役が優勝を飾る

1回戦

本田技研熊本 32（18－4、14－8）12 **日本原研**

〔戦評〕前半の得点差が大きく響き、日本原研の良さが出ず敗退した。

コスモ石油 21（10－8、11－12）20 **神戸製鋼**

〔戦評〕両チームとも1点をめぐる攻防となり、前半の少ないチャンスを生かしたコスモ石油に軍配が上がった。

大阪ガス 25（12－8、13－15）23 **JUKI**

〔戦評〕JUKIは後半に入り懸命に追い上げたが、前半の失点が響き惜しくも敗退した。

セントラル自動車 19（9－8、10－10）18 **徳山曹達**

〔戦評〕1点を争うシーソーゲームとなったが、辛くもセントラル自動車が前半の1点を守り抜き逃げ切った。

豊田自動織機 35（18－2、17－6）8 **自衛隊熊本**

〔戦評〕攻守共にバランスのとれた豊田自動織機に自衛隊熊本も歯が立たなかった。

出光千葉 24（13－11、11－11）22 **三和銀行**

〔戦評〕前半のリードをそのまま守り抜いた出光千葉が試合を制した。

新日鉄名古屋 23（11－7、12－9）16 **住友金属**

〔戦評〕前半の得点差が響き、後半住友金属も追い上げたが、新日鉄名古屋が逃げ切った。シュートミスが鍵を握った。

三景 33（15－5、18－5）10 **山陽国策パルプ**

〔戦評〕山陽国策パルプは、三景の攻守に阻まれ、善戦むなしく敗れ去った。

日本電装 30（14－2、16－7）9 **自衛隊久里浜**

〔戦評〕パワー、スピード、テクニックのすべてに勝る日本電装の一方的な展開となった。自衛隊久里浜の黒木選手の健闘が光った。

新日鉄大分 32（8－14、14－8、10－5）27 **マツダ**

〔戦評〕前半はマツダの攻撃が冴え、このまま逃げ切れると思われたが、後半に入り、新日鉄大分は南選手を中心としてパスがよくまわるようになり、延長戦にもつれ

得	〔本田〕		〔原研〕	得
0	中尾	GK	広瀬	0
0	宮本	GK		
2	矢野	FP	志賀	0
3	荒田	FP	大友	2
4	三代	FP	藤本	0
5	松村	FP	安掛	5
3	田中	FP	鈴木	0
2	山口	FP	安達	0
3	川崎	FP	荻原	3
0	村田	FP	砂押	0
4	田中	FP	坪井	2
6	堀内	FP	栗林	0
32	(2)	PT	(3)	12
		〔審・仲田　大鐘〕		

得	〔コスモ〕		〔神戸〕	得
0	谷口	GK	宮永	0
		GK	吉村	0
2	善岡	FP	江口	1
2	松田	FP	渡辺	3
11	北畑	FP	滋野	7
1	高橋	FP	猿丸	7
3	川端	FP	笹野	0
2	八木	FP	藤谷	1
0	大崎	FP	島本	0
0	昆野	FP	河内	1
0	松本	FP	佐伯	0
0	西本	FP		
21	(3)	PT	(1)	20
		〔審・川口　兼田〕		

得	〔大阪〕		〔JUKI〕	得
0	福田	GK	長谷川	0
0	森	GK	吉田	0
3	奥野	FP	後藤	4
3	加地	FP	福地	0
0	竹志	FP	北村	2
1	合田	FP	塩野	7
2	岩本	FP	河野	0
5	中村	FP	沢井	0
7	長田	FP	岩渕	0
1	田坂	FP	鷹野	5
3	藤田	FP	長沢	0
		FP	永松	5
25	(2)	PT	(6)	23
		〔審・滝口　小西〕		

得	〔セント〕		〔徳山〕	得
0	佐藤	GK	藤本	0
0	寿田	GK	村上	0
2	筌場	FP	山上	0
2	瀬戸	FP	重永	0
6	守谷	FP	前田	0
2	貴船	FP	湊	5
0	中村	FP	藤村	0
4	千葉	FP	井上	0
0	佐藤	FP	中村	4
3	伊東	FP	中村	5
		FP	東	1
		FP	湯浅	3
19	(0)	PT	(2)	18
		〔審・後藤　島田〕		

得	〔織機〕		〔北熊本〕	得
0	柴田	GK	上田	0
0	中村	GK	砂原	0
2	奥畑	FP	橋本	0
8	大野	FP	桐谷	3
2	諌山	FP	池澤	0
5	倉田	FP	上集	1
3	山内	FP	七村	0
2	新田	FP	古川	1
3	伊藤	FP	松崎	2
5	鎌田	FP	木島	1
5	杉浦	FP	久永	0
0	山田	FP		
35	(4)	PT	(2)	8
		〔審・仲田　大鐘〕		

得	〔出光〕		〔三和〕	得
0	久村	GK	岩永	0
0	池永	GK		
0	千葉	FP	山崎	0
0	能星	FP	田中	9
1	赤羽	FP	大和	2
0	田中	FP	加藤	3
4	重永	FP	古川	2
2	小浦	FP	木村	1
3	永石	FP	松永	3
3	清村	FP	滝	2
5	後藤	FP		
6	鶴岡	FP		
24	(1)	PT	(1)	22
		〔審・川口　兼田〕		

得	〔名古屋〕		〔住友〕	得
0	浜田	GK	中西	0
0	林	GK	相坂	0
2	平野	FP	楢崎	0
5	土屋	FP	山崎	0
2	清水	FP	河野	2
2	蟹江	FP	岡	2
6	大島	FP	西岡	1
0	渡辺	FP	寺西	0
5	竹田	FP	奥川	2
0	竹上	FP	古田	7
1	伊藤	FP	岡田	2
23	(1)	PT	(1)	16
		〔審・小西　滝口〕		

得	〔三景〕		〔山陽〕	得
0	中村	GK	見上	0
0	石井	GK	柏木	0
10	斉藤	FP	松本	2
10	高橋	FP	山崎	0
3	小金山	FP	上村	2
0	木原	FP	原田	2
5	金井	FP	伊藤	0
2	近藤	FP	末岡	1
0	福士	FP	小原	0
0	福永	FP	高橋	2
0	中野	FP	西本	1
3	高橋	FP		
33	(2)	PT	(0)	10
		〔審・後藤　島田〕		

得	〔電装〕		〔久里浜〕	得
0	福山	GK	下平	0
0	高橋	GK	福士	0
7	杉村	FP	渡辺	1
0	橋本	FP	中根	0
1	藤崎	FP	當真	0
5	久本	FP	黒木	8
5	岸田	FP	友利	0
4	井上	FP	永谷	0
0	岡崎	FP	白坂	0
2	樋口	FP	菅野	0
5	近藤	FP	後藤	0
1	難波	FP	中村	0
30	(3)	PT	(2)	9
		〔審・山口　吉田〕		

得	〔大分〕		〔マツダ〕	得
0	財満	GK	堀	0
0	小林	FP	吉川	0
5	牧	FP	河本	9
7	房前	FP	城谷	2
1	大杉	FP	三浦	3
8	麻生	FP	島谷	0
10	南	FP	村上	7
0	河野	FP	藤田	4
1	伊藤	FP	藤井	0
		FP	前野	0
		FP	磯本	2
32	(0)	PT	(0)	27
		〔審・岡本　清水〕		

得	〔麹町〕		〔ブエ〕	得
0	野　田	GK	上　原	0
0	斉　藤			
6	加　藤	FP	佐　藤	0
3	内　藤		隠　岐	3
2	白　倉	（審・三杉	野々垣	4
6	岡　部	辻本）	小　林	0
4	田　畑		江　崎	0
2	清　田		北　村	3
10	大　谷		金　井	0
3	山　田		伊　藤	2
2	高　橋		山　本	2
			金　久	1
38	(2)	PT	(1)	15

得	〔日鉄〕		〔北陸〕	得
0	清　原	GK	熊　本	0
			竹　内	0
3	杉　本	FP	天　坂	0
5	久保田		大　石	3
5	山　口	（審・吉山	進　葉	0
2	松　永	田口）	鍛　原	1
4	鹿　嶌		稲　木	0
1	古　川		田　中	4
2	池　辺		三　田	3
2	玉　嶋		新　納	0
1	霜　村		稲　崎	7
			川　上	0
25	(0)	PT	(0)	18

得	〔荷役〕		〔アイシン〕	得
0	石　井	GK	垂　見	0
0	飯　塚			
1	堀　戸	FP	横　井	0
4	朴		松　田	3
4	大　木	（審・清岡	今　野	1
1	下戸成	水本）	中　村	3
0	川　口		田　中	2
1	呉		垂　見	0
3	大　野		山　田	0
3	栗　原		喜佐田	4
6	田　中		稲　佐	1
6	田　口		松　野	2
29	(2)	PT	(0)	16

得	〔発条〕		〔合成〕	得
0	清　水	GK	則　武	0
4	井　上	FP	花　井	1
1	山　田		中　山	1
3	呉　座	（審・三松	渡　辺	0
7	中　村	辻本）	畠　中	0
1	進　藤		真　島	1
4	関		横　山	0
0	井　上		有　竹	0
0	石　塚		小　林	1
0	及　川		上　條	6
0	手　島		高　峰	0
20	(0)	PT	(0)	10

得	〔金沢〕		〔興亜〕	得
0	竹　中	GK	松　本	0
2	池　村	FP	藤　田	5
5	垣　内		中　本	0
3	橋　本	（審・吉山	長　野	0
2	西　山	田口）	松　本	2
0	倉		高　林	1
9	西　田		松　本	3
2	岡		中　村	0
1	八日市屋		重　田	1
0	中　村		原	0
1	水　野			
25	(3)	PT	(1)	12

得	〔爽風会〕		〔三井〕	得
0	内　山	GK	中　田	0
0	大　畑			
4	平　井	FP	田　中	4
4	門　口		佐　藤	0
3	関　根	（審・大仲	坂　本	0
9	井　方	鐘田）	森　重	3
1	宮　本		岡　村	1
6	木　下		相　田	1
7	松　下		三　村	2
1	金　沢		貫　船	0
3	弥　吉			
1	東			
39	(2)	PT	(2)	11

得	〔本田〕		〔コスモ〕	得
0	中　尾	GK	谷　口	0
0	宮　本			
4	矢　野	FP	善　岡	1
4	荒　田		松　田	1
7	三　代	（審・吉山	北　畑	6
8	松　村	田口）	高　橋	0
1	田　中		川　端	4
4	山　口		八　木	1
3	川　村		大　崎	0
0	村　田		昆　野	0
4	田　中		松　本	0
7	堀　内		西　本	0
42	(3)	PT	(1)	13

得	〔セント〕		〔大阪〕	得
0	佐　藤	GK	福　田	0
0	寺　田		森	0
4	筌　場	FP	奥　野	0
1	瀬　戸		加　地	6
0	尾　形	（審・三杉	竹　志	0
3	守　谷	辻本）	合　田	0
2	貴　船		岩　本	2
1	中　村		中　村	1
5	千　葉		長　田	2
0	佐　藤		水　谷	2
0	伊　東		田　坂	1
			藤　田	0
16	(1)	PT	(1)	14

こむ。熱戦となったが、勢いのある新日鉄大分が接戦を制した。

三景麹町 38（17－7、21－8）15 ブラザー工業

〔戦評〕試合巧者の揃った三景の一方的なペースで試合は終始した。

日鉄建材 25（13－8、12－10）18 北陸電力

〔戦評〕後半、北陸電力もよく健闘したが、地力に勝る日鉄建材が終始リードし、試合を制した。

中村荷役 29（20－6、9－10）16 アイシン精機

〔戦評〕アイシン精機の小技に対し、高さとパワーあるれる中村荷役の対戦となった。試合は終始中村荷役のペースで進んだ。中村の高いディフェンスにアイシンもスピードあるプレーで後半よく健闘したが、地力に勝る中村が試合を制した。

日本発条 20（9－3、11－7）10 豊田合成

〔戦評〕前半、日本発条はポストプレーなどでリードを奪った。後半、豊田合成は逆速攻などで反撃したが、日本発条GK清水の好守に阻まれて敗れ去った。

金沢市役所 25（9－8、16－4）12 興亜石油

〔戦評〕前半、両チーム共にシュートミス、ラインクコスなどが多く、得点の低い試合展開となったが、後半、金沢市役所の速攻が冴え、接戦を抜け出した。

本田爽風会 39（18－4、21－7）11 三井石化

〔戦評〕三井石化も善戦したが、攻守共に優れた本田爽風会の前に敗退した。三井石化は攻守共にバランスが悪かったと思われる。

2回戦

本田技研熊本 42（23－4、19－9）13 コスモ石油

〔戦評〕本田熊本の高いディフェンスにコスモ石油はなかなか得点できず、本田は早い攻撃の手をゆるめず完勝した。

セントラル自動車 16（8－7、8－7）14 大阪ガス

〔戦評〕両チームはげしくせり合う。後半、大阪ガスが逆転するがセントラル自動車が再逆転、粘り勝つ。

豊田自動織機 35（15－7、20－6）13 出光千葉

〔戦評〕豊田自動織機の固い守りと早い攻撃、後半は出光千葉のスタミナ不足で豊田が完勝した。

三景 27（12－9、15－3）12 新日鉄名古屋

〔戦評〕両チーム前半は点の取り合い。後半は三景の早い攻撃と新

Casual City Hotel

ぼくはシャンピー

■料金（税込）
シングルA……6,180円
シングルB……6,540円
シングルC……6,740円
ダブル………12,360円
ツイン………11,330円

大阪シャンピアホテル
〒530 大阪市北区南扇町6-23 代表☎06(312)5151
●交通 新幹線新大阪駅からタクシーで10分
大阪空港からタクシーで20分（阪神高速）大阪駅から扇町まで徒歩12分

■料金（税込）
シングルA……6,690円
シングルB……7,100円
ツイン・ダブル・11,330円
トリプル………14,630円

SHANPIA
東レシャンピアグループ

名古屋シャンピアホテル
〒460 名古屋市中区錦2-20-5 代表☎052(203)5858
●交通 地下鉄東山線伏見駅より東へ徒歩5分
地下鉄東山線栄駅より西へ徒歩8分 タクシーは名古屋駅より8分

●赤坂シャンピアホテル ●青山シャンピアホテル ●大阪シャンピアホテル ●防府シャンピアホテル ●姉妹ホテル KOLON HOTEL 韓国、慶州（キョンジュ市） 東京事務所(03)586-7571

★予約センター
東京予約センター ☎03(583)1001
名古屋予約センター ☎052(203)5489
大阪予約センター ☎06(312)1751
北海道予約センター〈札幌〉 ☎011(232)3731
東北予約センター〈仙台〉 ☎022(224)0078
北陸予約センター〈金沢〉 ☎0762(40)0890
防府予約センター ☎0835(21)6601
九州予約センター ☎092(714)3581

日鉄名古屋のシュートミスで三景が完勝した。

日本電装21〔11-10 10-10〕20新日鉄大分

〔戦評〕立ち上がり堅さの見られた日本電装に対し新日鉄はのびのびとしたプレーで得点を重ねた。その後、電装の速攻が決まり、1点をリードして前半を終了した。
接戦は後半になっても続き、一進一退をくり返したが、最後は若さに勝る電装が接戦を制した。

得	〔織機〕		〔出光〕	得
0	柴田	GK	久村	0
0	中村		池永	0
4	蟹江	FP	千葉	0
3	奥畑		保原	0
7	大野		赤羽	3
3	諌山		重永	1
4	倉田		永石	4
2	山内		清村	1
2	伊藤		後藤	1
6	鎌田		鶴岡	3
1	杉浦			
3	山田			
35	(3)	PT	(0)	13

（審・仲田・大鐘）

得	〔三景〕		〔名古屋〕	得
0	中村	GK	浜田	0
0	石井			
4	斉藤	FP	平野	0
4	高橋		土屋	4
5	小金山		清水	2
2	木原		蟹江	2
8	金井		大島	1
2	近藤		渡辺	0
2	福永		竹田	3
0	中野		竹上	0
0	高橋		伊藤	0
			林	0
27	(1)	PT	(0)	12

（審・山口・吉田）

得	〔電装〕		〔大分〕	得
0	森	GK	財満	0
0	福山			
1	杉村	FP	小林	0
4	橋本		牧	3
0	藤崎		房前	1
1	久本		大杉	0
4	岸田		麻生	4
3	井上		南	3
0	岡崎		河野	9
0	樋口		伊藤	0
3	近藤			
5	難波			
21	(0)	PT	(1)	20

（審・滝口・小西）

三景麹町26〔12-9 14-10〕19日鉄建材

〔戦評〕日鉄建材の先制でスタートしたが、前半なかばに日鉄・山口の負傷退場が大きく影響し、12－9と三景リードで前半を終了。
後半、日鉄は松永、鹿嶌のミドルで追い上げるが、攻撃が単調となる。一方三景は、ベテラン・加藤、内藤らが着実に得点し、ゲームをものにした。

中村荷役28〔20-7 8-7〕14日本発条

〔戦評〕中村荷役の韓国人ペアーを中心とした力強い攻撃で、前半で20－7と大差をつけて勝負を決めた。

本田爽風会25〔14-6 11-7〕13金沢市役所

〔戦評〕立ち上がりから本田爽風会が速攻による得点でリードを広げる。
後半、金沢市役所も池村のロングシュートなどで反撃するが、シュートミスからの逆速攻にあい、終始本田爽風会ペースの試合展開となった。

得	〔麹町〕		〔日鉄〕	得
0	野田	GK	清原	0
0	斉藤			
3	加藤	FP	杉本	3
2	内藤		久保田	2
2	白倉		山口	3
2	岡部		松永	3
6	田畑		鹿嶌	3
2	溝部		古川	0
8	清田		池辺	5
1	大谷		玉嶋	0
0	高橋		霜村	0
26	(2)	PT	(1)	19

（審・岡本・清水）

得	〔爽風会〕		〔金沢〕	得
0	内山	GK	竹中	0
0	大畑		藤井	0
1	平井	FP	池村	0
3	門口		垣内	1
6	関根		橋本	3
3	井方		西山	1
4	宮本		西田	3
1	宮本		岡	5
4	木下		八日市屋	0
0	金沢		水野	0
2	弥吉		瀬藤	0
1	東		金森	0
25	(1)	PT	(2)	13

（審・滝口・小西）

得	〔荷役〕		〔発条〕	得
0	石井	GK	清水	0
0	飯塚		手島	0
4	田口	FP	井上	5
4	堀戸		山田	0
2	朴		呉座	3
4	大木		中村	4
3	下戸成		進藤	0
0	川口		関	0
4	呉		井上	2
2	大野		石塚	0
2	栗原			
3	田中			
28	(0)	PT	(1)	14

（審・川口・兼田）

準々決勝

本田技研熊本37〔21-10 16-13〕23セントラル自動車

〔戦評〕本田はスタートより全員よく走り、ムラなく得点を重ねたのに対し、セントラルはペースを落としてセット主体で攻撃するがスピードの差が大きく、前半で大勢が決してしまった。
後半セントラルは走ることに切り換え、一時追い上げたが、本田のスピードには勝てなかった。

得	〔本田〕		〔セント〕	得
0	中尾	GK	佐藤	0
0	宮本		寿田	0
0	矢野	FP	笠場	0
4	荒田		瀬戸	1
1	三代		尾形	1
11	松村		守谷	8
2	田中		貴船	3
0	山口		中村	2
9	川崎		千葉	8
2	村田		佐藤	0
8	田中		伊東	0
0	堀内			
37	(2)	PT	(5)	23

（審・松本・三辻）

三景29〔12-9 17-10〕19豊田自動織機

〔戦評〕前半立ち上がりは豊田がセット攻撃で得点していくが、前半終了間近に三景が早い攻撃で逆転する。
後半は三景のGKが代わり、豊田のシュートを止めて、逆にスピードある攻撃で得点を重ねる。

得	〔三景〕		〔織機〕	得
0	中村	GK	柴田	0
0	石井		中村	0
9	斉藤	FP	蟹江	3
7	高橋		奥畑	1
6	小金山		大野	7
1	木原		諌山	2
5	金井		倉田	2
1	近藤		山内	3
0	福永		新田	0
0	中野		鎌田	1
0	高橋		杉浦	0
			山田	0
29	(1)	PT	(1)	19

（審・後藤・島田）

日本電装30〔14-7 16-16〕13三景麹町

〔戦評〕若さ、スピードの電装と

召しませ自然。

シャトレーゼのお菓子は山梨育ち。
日本一の果実郷と極上の酪農地帯です。
澄んだ空気と豊かな自然を、
満載しています。
そして、日本中をおいしい笑顔でみたそうと
シャトレーゼのフレッシュパワー、
ハンドボール部ともども、
21世紀に向って、
さらに大きく飛躍しようとしています。

Châteraisé

株式会社シャトレーゼ
山梨県東八代郡中道町下曽根3440-1 〒400-15
電話(0552)66-5151(大代) FAX(0552)66-5156

ベテランのテクニックをいかした三景麹町の対照的なチームの対戦となった。

前半立ち上がりは電装が杉村のロングと速攻でリードしたが、三景もうまさでよく反撃した。中盤、電装の速攻でのパスミスが出たが、これを三景が得点できず、徐々に点差が開いた。

後半開始早々三景が2本の速攻を決めたが、電装もすぐ反撃、その後はセットでの攻防で一進一退、スタミナに勝る電装がふり切った。

得	〔麹町〕		〔電装〕	得
0	野田	GK	森	0
0	斉藤	GK	高橋	0
9	加藤	FP	杉村	5
3	内藤	FP	橋本	3
3	白倉	FP	藤崎	0
2	岡部	FP	久本	5
3	田畑	FP	岸田	2
1	溝部	FP	井上	3
2	大谷	FP	岡崎	6
			樋口	1
			近藤	3
			難波	2
23	(2)	PT	(1)	30

〔審・岡本 清水〕

中村荷役 31（14－10, 17－2）12 本田爽風会

〔戦評〕前半立ち上がりから中村は呉、田口の高いプレーを中心に朴がポストから得点をあげた。一方本田は、中村の高い壁を攻めあぐみ、前半2点しかあげることができなかった。

後半、本田もスピードあるプレーで得点をあげだしたが、中村のパワー、高さ、テクニックの前に敗れ去った。

得	〔爽風会〕		〔荷役〕	得
0	内山	GK	石井	0
0	大畑	GK	飯塚	0
3	平井	FP	田口	10
2	門口	FP	塚田	1
3	関根	FP	堀戸	4
0	井方	FP	朴	5
0	宮本	FP	大木	2
1	宮本	FP	下戸成	4
2	木下	FP	三尾	1
0	金沢	FP	呉	3
0	弥吉	FP	栗原	1
1	東	FP	田中	0
12	(0)	PT	(3)	31

〔審・川口 兼田〕

準決勝

本田技研熊本 30（15－9, 15－13）22 三景

〔戦評〕立ち上がり三景がリードを奪ったが、本田熊本は田中の活躍と速攻が冴え、逆転した。

三景は後半シュートミスが重なり、そつなく点数をあげた本田熊本が試合を制した。

得	〔三景〕		〔熊本〕	得
0	中村	GK	中尾	0
0	石井	GK	宮本	0
2	斉藤	FP	矢野	0
3	高橋	FP	荒田	4
2	小金山	FP	三代	4
0	木原	FP	松村	2
7	金井	FP	田中	2
4	近藤	FP	山口	0
4	福士	FP	川崎	6
0	福永	FP	村田	0
0	中野	FP	田中	9
0	高橋	FP	堀内	3
22	(0)	PT	(2)	30

〔審・岡本 清水〕

中村荷役 35（17－14, 18－13）27 日本電装

〔戦評〕高さの中村荷役か、若さの日本電装か。スピーディなゲームであった。日本電装も逆速攻などで反撃したが、中村荷役の高さの前に今一歩とどかなかった。

中村荷役の朴、呉の両韓国選手の活躍が目立った。

得	〔電装〕		〔荷役〕	得
0	福山	GK	石井	0
0	高橋	GK	飯塚	0
10	杉村	FP	田口	12
6	橋本	FP	塚田	1
0	藤崎	FP	堀戸	1
2	久本	FP	朴	9
3	岸田	FP	大木	0
1	井上	FP	三尾	2
1	岡崎	FP	呉	10
0	樋口	FP	大野	0
3	近藤	FP	栗原	0
1	難波	FP	田中	0
27	(3)	PT	(5)	35

〔審・川口 兼田〕

3位決定戦

三景 25（14－11, 11－12）23 日本電装

〔戦評〕両チームともよく動く。日本電装・杉村のミドル、久本のポストプレーを確実に決めリードしたが、三景も斉藤のミドルで追い上げ前半を終了。

後半に入っても一進一退のゲームが続くが、電装の選手交替ミスをきっかけに三景が逆転、逃げ切った。

得	〔電装〕		〔三景〕	得
0	森	GK	中村	0
0	高橋	GK	石井	0
8	杉村	FP	斉藤	7
3	橋本	FP	高橋	5
0	藤崎	FP	小金山	3
5	久本	FP	木原	0
3	岸田	FP	金井	2
0	井上	FP	近藤	7
2	岡崎	FP	福士	0
0	樋口	FP	福永	1
0	近藤	FP	中野	0
2	難波	FP	高橋	0
23	(2)	PT	(0)	25

〔審・後藤 島田〕

決勝

中村荷役 28（15－11, 13－12）23 本田技研熊本

〔戦評〕試合は中村荷役・朴のポスト、呉の45度シュート中心の攻撃に対して本田熊本は田中を中心とした速攻撃という戦いとなった。

終始1点を争う展開だったが、後半ミスが多くなった本田に対しそつなく得点を重ねた中村荷役がゲームを制し、優勝を飾った。

得	〔熊本〕		〔荷役〕	得
0	中尾	GK	石井	0
0	宮本	GK	飯塚	0
0	矢野	FP	田口	4
1	荒田	FP	塚田	2
3	三代	FP	堀戸	3
4	松村	FP	朴	8
3	田中	FP	大木	0
0	山口	FP	三尾	3
5	川崎	FP	呉	8
1	村田	FP	大野	0
6	田中	FP	栗原	0
0	堀内	FP	田中	0
23	(2)	PT	(3)	28

〔審・仲田 大鐘〕

ねばりは頑張り　気力は体力

医薬品

キヨーレオピン

KYOLEOPIN LIQUID

医薬品

レオピンファイブ

効能・効果

●滋養強壮●虚弱体質

●肉体疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害

・発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給

湧永製薬株式会社

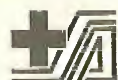
ワクナガ

●札幌011(747)2166 ●東京03(293)3351 ●名古屋052(971)5901

●大阪06(458)8901 ●広島082(264)4116 ●福岡092(481)7382

"小さな掛金、大きな補償" でおなじみの

900万人の保険



スポーツ安全保険

が4月からかわります。一層有利になりました。

主な改定

- ★ 加入区分、掛金が改められました。
- ★ 死亡・後遺障害が最高1,400万円に増額され、入院通院日額も引き上げられました。
- ★ 補償の対象になる治療日数が「4日以上」に短縮されました。
- ★ 賠償責任保険の補償限度額が1億円に増額されました。
- ★ 心蔵マヒなどの突然死等に対し見舞金が支払われることになりました。

5人以上のグループでこの保険に加入できます。

区分			掛金（1人年額）	傷害保険（保険金額）死亡・後遺障害	入院	通院	賠償責任保険（補償限度額）	共済見舞金
1種	A	■スポーツ少年団、子ども会など中学生以下のグループ ■成人の文化活動、社会奉仕活動のグループ	360円	最高 1,400万円	1日につき 4,000円	1日につき 1,300円	対人賠償 1億円（自己負担1,000円） 対物賠償 500万円（自己負担1,000円）	突然死および日射病熱射病による死亡 50万円
1種	B	老人クラブ団体 ■団体員がおゝむね60歳以上の人により構成された団体（例）ゲートボールクラブ、ハイキングクラブなど	500円	400万円	1,800円	800円		
1種	C	■ママさんバレーなどの地域スポーツのグループ ■高校の運動部、大学、会社などのスポーツ同好会 ■一定の資格のある指導者のグループ	1,100円	1,400万円	4,000円	1,300円		
2種	A	■大学の運動部、実業団のチーム	1,450円					
2種	B	■難度の高いスポーツをする大学の運動部、実業団のチーム	5,750円					
3種		■とくに難度の高いスポーツをするグループ	9,900円	400万円	1,800円	800円		

対象となる事故　■グループ活動中の事故　■往復途上の事故

保険期間　平成2年4月1日より翌年3月31日まで（申込受付は3月から）

加入申し込み、資料の請求、お問合わせ
スポーツ安全協会各都道府県支部（主として教育委員会保健体育課および体育協会）、もよりの東京海上火災保険㈱の営業店にご照会ください。

（財）スポーツ安全協会
東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館 TEL（03）481-2431（代表）

小・中学生のための基礎技術②

「シュート」

東京都世田谷区立桜木中学校
ハンドボール部監督
加藤　益弘

今回は、得点を獲得するための技術について述べてみたいと思う。

これは、ハンドボール競技の勝敗を決する重要な技術であるので、くり返し練習することが大切である。

シュートの種類には、ジャンプシュート、ステップシュート、バックシュート、プロンジョンシュートなどがあるが、それぞれのシュートの中でも基礎的なショルダーパスの延長として考えられるオーバーハンドから打たれる投法について述べることにしたい。

ショルダーパスの延長として考えると、キャッチ、テークバック、フォワードスイング、フォロースルーという一連の動作がスムーズに行なわれていくことは当然であるが、それぞれの部分でシュートの動作を示した1～4にあるように、柔らかいキャッチ、素早く、高い位置でのテークバック、からだのねじりの返しを十分に利用し、ひじや手首のきいたしなやかなフォワードスイング、大きくゆっくりとしたフォロースルーという過程を通してシュートが完成されると考える。

では、それぞれの部分についてこまかく述べていくことにする。

第一にテークバックの時に利き腕と逆側の肩をゴールへ向うようにからだをねじる。そして、ひじの高さが少なくとも肩の高さで保持できるようにしたい。ディフェンスの身長が高くてもその上あるいは、横から打てるようにすることを考えると5㎝でも3㎝でも良いから高くしたいものである。

小・中学生では、からだの発達に個人差が大きく、手の大きさもさまざまである。

比較的に手が大きくボールをしっかりとにぎることのできる者は、写真5のように上からボールをにぎり、それを振り出すと、コントロールの良い、打点の高いシュートが期待できる。逆に、手が小さくにぎることの難しい者は、写真6のように手のひらに乗せて振り出すと、若干コントロールは落ちるがにぎって振り出す時よりもはるかに速いシュートを打つことができる。

第二にフォワードスイングであるが、テークバックの時に向けた利き腕と逆側の肩をねじった上体を強く、速く、スムーズに返すことに心がけたい。そして、上体を返した力が肩、ひじ、手首、指というように伝達されて、からだの総合した力としてボールに集中するように打つようにさせたい。

この二つの動作は、初心者ほど時間をかけてじっくりと身につくまで行なうことは当然であるし、経験者でも、シュートの最終段階でのさまざまにディフェンスをかわすための変化を考えると同様に重要である。

特に、ジャンプした時などは、この動作の完成度によってシュートの威力に差が大きく出てゴールにつながらないことになる。

第三にシュートのコースであるが、基本的に利き腕側の上に向かって安定して打てるようになってから他のコースへ打てるように練習していくことが大切であると思う。筋力、体格に劣ると思われる者ほどきちんと打てるようにしたいものだと考える。そして、少しずつ実戦に近づけてディフェンスを置いたり、シュートの前にダッシュやフェイントを行なってからなどという変化をつけていくことが必要と考える。

小・中学生がハンドボールを行なう上で一番おもしろく楽しく感じることは、自分の打ったシュートがゴールキーパーを抜いて決まった時だと思う。得点チャンスに得点できるように技術を定着させておくことが、選手の興味をさらにひきつけ、力量の高まりに大いに役立つと思う。（つづく）

新しい時代を作ってゆくのは、
新しいひらめき。
そして、ひらめきを実現してくれる
素材が求められます。
常に新しい技術で新しい夢をかなえる
素材をお届けしてきた日新製鋼。
これからも時代に応える
新しい素材をみつめてゆきます。



明日の素材をみつめる
日新製鋼
東京都千代田区丸の内3-4-1
(新国際ビル)☎03-216-5511 〒100


写真 1


写真 2


写真 3


写真 4


写真 5


写真 6

1989 IHFシンポジウムレポートNo3

レフェリーのための次元の高い教育とその向上について

IHF/PRCレクチュアラー　オイヴィント・ボルスタット（ノルウェー）

親愛なるハンドボール愛好者の皆さん

このたびのテーマは、レフェリーのための次元の高い教育とその向上についての私の持ついろいろな考え方を示す上で興味あるテーマと言える。

まずはじめに、このスピーチの基礎となっているのは私自身の考え、思想であることを断っておきたい。

しかしながら、この他に私が自国だけでなく多くの国・世界中の多くのトレーナー・コーチ・経験豊かなプレーヤーと共に懇談し討論したおかげで多くの貴重な情報を得たことを強調するのは極めて重要であると考える。

ハンドボール競技における「演技者」であるトレーナー・コーチ・プレーヤーとの討論と意見の交換は、私と私の同僚である有能なレフェリー、テルジエ・アントンセンと共同で慎重に作業を進めた。

これらの懇談と討論により、私たちの意見の裏付けが確実なるものであると認めることができて感謝にたえない。

「レフェリーは可能な限り優れた存在でなければならないとは、万人の共通の関心事である」

優れたレフェリーとは何を意味するのか?

優れたレフェリー活動の本質とは一体何なのか?

換言すれば私たちがレフェリーに期待する特別な資質とは何なのであろうか?

このことを、より深く掘り下げる前に、私はどんな試合の場でもレフェリングを円滑に行なう上での三つの基本的必須条件をお話することにしたい。これらの条件は誰もが自身で獲得できるものであるが、同時にすべてのレフェリングの基礎を創造するものでもある。

それらをあげてみる。

① 試合のルールに関する知識
② レフェリーのシグナルに関する知識
③ 身体的適性を備えていること

次に続く文では、この三つのことは言及しないが、初心者からトップレフェリーに至るまでのレフェリー活動の重点は基礎理念の確立にあるともう一度くり返しておく。

ここで、先ほど私が提案した問いかけの一つに話を戻す。「私たちがレフェリーに期待する特別な資質とは何か?」私は今までノルウェーだけでなく、世界中の国々のトレーナー・プレーヤー・レフェリーに同様な質問をしてきた。

国籍に関係なく、ある種の特質が多数意見となったのは、それほど驚くことではない。

諸特質の中で最も多い頻度であげられたことは、

① 公明正大であること（ホームチームとビジターチームの双方に平等な立場と同じ方法で判定すること）。
② 笛を過早に吹いてしまうとアドヴァンテージ状態をこわすことになる。
③ 試合全体を通じて同一のレベルを維持する。

これらは、統計資料とするにはどちらかと言えば不完全なものであるが、私たちとしては、次の結論を引き出すことができる。つまり、プレーヤーとコーチたちは、レフェリーが「試合を読む」能力を備えた上で双方のチームに公平に判定することによって生じる尊敬と自信あるレフェリー活動を期待し、望んでいるということである。

先ほど述べたレフェリーの三つの必須条件を基にして、私はこの三つの特質に焦点を当てて行くことにするが、これらは私の考えでは向上を志しているレフェリーにとっては必ず勉強すべき最重要な「領域」である。

① 試合を読む能力
② 性格
③ 指導力

試合を読む能力について

試合の流れを読みとる能力を備えたレフェリーの方が、それを欠くレフェリーよりも、はるかに容易にプレーヤーやコーチから喜んで理解され、受け入れられることは正に一点の疑いも持たれるものではない。

では、試合を読む能力を持つと言うことは、実際問題としてどんな意味合いを示すものなのか?

とりわけ、試合中に何か問題がおこったときに、レフェリーが「何が?」「なぜ?」と自身に問いかけてみるということである。

この問いかけをたえず自身にするということによってレフェリーは、いわゆる「動作と反応」、換言すれば「原因と結果」の関係についての観察能力の向上改善が可能となる。

「何がおこったか」「なぜおこったか」の疑問について、自身に問いかけることにより、レフェリーは観察能力を高めるようになると共に、それで最初の反則をより上手にさばくことができて、それがプレーヤーから自然に理解され、尊敬されることにつながる。

試合を読む能力の第二の要因は、なぜプレーヤーがそのように動いたのか、または同じチームのプレーヤーの協調的な動きの動機を見抜くレフェリーの能力である。ここで、再度「何が?」「なぜ?」という問いかけに戻って来る。

プレーヤーが何をしたか? プレーヤーはなぜそれをしたか?

このことについてのトレーニングでレフェリーは誰もがよく知っている反則の許容限度曲線についての技術を改善することができるようになる。

すなわち、二人のプレーヤーが正面からぶつかり合う時は、レフェリーの許容度はかなり大きく、一人のプレーヤーが相手の背後から攻撃すると、その許容度は全く認められないということである。

試合を読む第三の要因は、レフェリーのいわゆるアドヴァンテージ適用能力である。「最高のレフェリーとは、時として笛を吹かないことがあるからベストなのである。」これらのレフェリーは、ボール保持チームが試合を続行している状態では反則があってもみだりにフリースロー判定をしないというアドヴァンテージ判断能力を備えている。

フランスで行なわれた世界選手権大会予選のオープニングで、私はレフェリーたちに短い挨拶をしたが、その中でこの件についての例として、力づくのプレーに言及した。どのようなレベルでも、相手チームの一人が退場処分を受けたならば、どのように対応するかについての合意了解事項を心得ている。レフェリーは、このことに気づいているべきであり、それが時折、軽い、甘い、フリースロー判定を下してことを済ませてはならない。

さらに自己の向上を志しているレフェリーは当然のことながら、ディフェンスシステム（6—5、5—1、その他）とオフェンスシステム（3—3、4—2など）についても最も基本的原則を詳しく知り抜いていなければならない。

そうすれば、どこから反則がおこるかをより簡単容易に予知することができる。これを実行することによって、私は最高のレフェリーのパフォーマンスの背後の支えとなっている最大の秘訣の理解に到達したのである。すなわち、最高のレフェリーは、どこを見て何をするのかということを熟知しているからこそ最高に素晴らしいのである。

性格について

人格または性格というものが、それ自体一つのものと考えてしまうのは、あきらかに的を射た意見ではないにしても、この指摘をふまえて自己向上を目指すレフェリーは、場合によっては熱狂的雰囲気の試合に当たってのパフォーマンスと対照的に比較される本人の性格の長所、弱点の明らかな自覚意識を持つようにすべきである。

より良いレフェリーとなることを願って自身の性格の改善に努めるすべての試みは、あくまでも個々のレフェリーが個人として解答成果を示すべきことは明らかである。

人生において、さまざまな状況の中にある全人類と同様に、私たちは長所を伸ばすとともに、短所はできるだけかくしておこうとする。この問題をより深くまで掘り下げようとすれば、今回のシンポジウムでは時間が十分ではない。ここで私の考える若干の問題点、これこそこの問題に関する中心的見解を述べるにとどめる。

第1のキーワードは「勇気」である。

ここでの勇気とは、チームにとって喜ばれない「不人気」な判定を下すのに必要な勇気である。つまり、自チーム勝利への要求の強いホームチームの観衆にとっては「不人気」な判定のことである。

あなたがもし、このレフェリー特質をすでに備えているのであれば、プレーヤーやコーチから的はずれな要求に対しては、公平さ（ホームチーム・ビジターチーム双方に同じ方法、同じ基準で判定すること）で、満足させるようにすれば良い。別の言葉では、レフェリーは、常に両チームに対して、フィフティ・フィフティの立場であるべしと言うことである。

この種の勇気または度胸は、観衆からのプレッシャー、すなわちテレビ放映の試合は勿論のこと、選手権試合のファイナルでも同じことであり、何が何でも勝ちたいとの意味での決定的な試合などのプレッシャーに対処する能力と寛容さを含むものである。

第二のキーワードは「自信」である。

あなたがトップレフェリーとして成功したければ包括的な自信を持つべきであるということと、自分が優れているのだと信じることであり、これがハンドボールの試合のようなストレスに溢れる場面の中で気分を落ち着かせることになる。また、何らかの問題ある状況にさらされた時、レフェリーは間違いを認める能力を持つという「リラックスした自信」をも含む。レフェリーは複雑で無秩序的混乱に際しても「冷静さを維持する」能力を備えていなければならないし、それを常に訓練すべきである。

第三のキーワードは表現についてのスタイルである。

親愛なるハンドボール愛好者の皆さん！

あなたが「手際良いと思うレフェリーとは、どのような特質を備えたものなのか」と尋ねるならば、返答としては最も重要な理由の一つとして、彼らの表現についてのスタイルとの関係を認めざるを得まいと申し上げる。

最高のレフェリーは関係者（参加者）のすべてが、状況が厳しくて吹笛困難と見る試合であっても、好ましい雰囲気を造り出す能力を備えている。このことは、レフェリーの表現についてのスタイルに密接に関わり合っている。

まず第一に、私があげるのは、ユーモア、物まね、そしてボディ・ランゲージである。

最後の三つ目の特質に入る前に「警鐘」を意味する点をあげることを許されたい。すなわち、すべてのレフェリーは、知名度が高く尊敬心服する仲間のレフェリーの模倣をするだけでなく、自身の性格にマッチした自分だけの表現スタイルを見出すようにすべきであ

OSAKI

電気をみちびく。
未来へみちびく。
ー計測と制御ー

大崎電氣工業株式會社
本社 〒141 東京都品川区東五反田2-2-7
電話 (03) 443-7171(代表) FAX (03) 447-5844

る。
物真似ばかりでは、遅かれ早かれ否定的マイナスの結果に陥ることとなるであろう。

指導力について

この資格はもちろんレフェリーの性格に依存するところが大きい。ここでのキーワードは「決定をくだす能力」である。どこを見て何をさがすということを知っていると同時に、ルールの「精神」と「書かれた言葉」とのちがいに留意しているレフェリーは、必要な判定をくだす上で妥当公平なチャンスが得られるであろう。

同様に重要なことは疑問を短時間に解く能力である。これもレフェリーの性格と、「何が」、「なぜ」と疑うことによって試合の流れを読む能力と密接な関係がある。ある試合状況が急激に大変化をまきおこしたり、または極めてドラマチックな展開を見ることはよく知られていることである。

問題（トラブル）がおきたときに対する最高のレフェリーの能力は罰則適用の方法をどのように使うかということと密接に関係している。

イエローカード、2本の指による退場指示、レッドカード、腕を交差するなどといったしきたり的な方法に加えて、ボディ・ランゲージや物まねのような定義されていない手段を応用するといった上品なマナーで問題を解決するレフェリーもいる。

これがレフェリーが試合中のすべての出来事に集中することと同じく、交代ベンチにいる著名なトレーナーやコーチにも影響するのである。

彼らの「名声」は必ずしも彼らのチームによって達成された結果（勝利）によるものではなく、むしろ彼ら自身の気質的気分と反応の仕方によるものである。

レフェリーが人間の性格を知り、プレッシャーとストレスのもとでの人間の行為に対して、若干の心理学的洞察力をそなえておけば、いい意味で興奮を落ち着かせるとともに試合場の平穏なムードをつくり出す。

そして我々の愛好するハンドボールというスポーツのさまざまな演技者相互の間の全面的な信頼を支えることにつながるのである。

御静聴を謝す

オイヴィント・ボルスタット

1989 IHFシンポジウムレポートNo4

エリートレフェリーの教育について

IHF／PRC理事　ヴアシレ・シデア（ルーマニア）

エリートレフェリーとは、いかなる大会の困難度の高い試合の場に立っても、いささかの不安心配感を持たれることなく指名任命される高度に洗練された存在である。そして、これらは主要な国際審判員とその候補者とその属する国での指導的役割を果たせるレフェリーのことである。

しかしながら、現在は加盟国から国際レベルにあり、ベストに振る舞うことができるとされてAリスト・Bリストに登録されているレフェリーとその候補者は、それぞれエリートレフェリーと見なされるという傾向が明らかになっているが、これらはオリンピック大会、世界選手権大会、そしてヨーロッパクラブ大会等のファイナル段階試合といった国際的にも最高級の試合の運営に指名されることになっておることも話として出しておくことにする。

エリートレフェリーは理論的知識が高いレベルに到達しているべきである、ハンドボールの技術、戦術に通暁していることと、模範的な身体準備状態――敏捷性と持久力――そして、難しい試合をトラブルなく処理することのできる経験の豊富さを同時に示すことができなければならない。

レフェリーの理論的学習は基本的には個人の問題であり、それは合同的に基礎研修をするとかトレーニングするといった型のものと混同されるものでなく、レフェリーというものは本人が理論的教養研究に関心を示さない限りエリートレフェリーとしては認められない。

経験が理論知識にまさるとの見解主張をとる多くのレフェリーは、その考え方に重大な過ちを犯していると言わざるを得ない。ルールに関する正しい理論知識の裏づけを持たずに、単に経験を基礎とするだけでは、彼らのレフェリー生活で正しい判定を下すことが、不可能な試合状況に遭遇した時はそれこそ想像もつかぬ事態となるで

くらし、ひろげるジャスコのカード
会員募集中
ファッションから食品まで
サインひとつでお買物。
ご入会手続きも簡単です。
お気軽にお申込み
ください。


お支払いもいろいろ
●月々のお支払いがラクな
リボルビング払い
●手数料なしのおトクな
一回払い
●お求めはいま、お支払いは
ボーナス一括払い
お申し込み、お問い合せは、ジャスコ各店サービスカウンター又は、販売員におたずねください。

ジャスコ

あろう。
試験または考査制度による助けなしでは、レフェリーの理論知識を豊富にするということは極めて困難であるとする根本的原理により、私の国（ルーマニア）では、トップレフェリーに対して毎年試合シーズン開幕前に、全国的規模での集中統一水準テストに合格することを求めている。トップレフェリーも含めて、各地方のすべてのレフェリーは、それぞれの地区の委員会の指導管理のもとに1年に2回のレベルアップテストを受けなければならないことも付け加えておこう。

我が国でのレフェリーの理論に関する個人的トレーニングは、地域的にも、全国的にも、グループとして多様な方法で実施されている。

地域的なレベルでの週に一度のミーティング学習では、ルールが何を要求しているのかの説明とレフェリーの実務の遂行についての分析に多くの時間を当てている。ここでは、トップレフェリーはオブザーバーとして行動し、時にはレフェリーに対して指導助言をしたり、またはルール解釈に困難点や疑問点が生じてその解明を必要とする場合には、何らかの短い解説をしたりする。

1年に2回レフェリー委員会のインストラクターは地方の委員会に出張観察して、そこで再び各種の問題点についての解明のためトーキングを行なうなどの役割を果たす。

毎年大きな大会の前には、3〜4日間にわたってトップレフェリーの中央研修会が開かれ、併せて前年のレフェリー活動の個人および総合評価も行なわれる。ルールの問題点や明確な統一見解がIHF／PRCのガイドラインに沿った上ですべてのレフェリーの理解を可能にするための講義も行なわれる。

これらの学習を容易にするため、我々はレフェリー活動の改善については当然関心の高いクラブチームから試合のビデオテープの提供を受ける。これらの引用によりレフェリーは特殊な状況や、正しい判定あるいは疑問ある判定を示す場面を確認することができる。

身体的適応能力のトレーニングについては、これこそ個人の努力分野である。我々の国では、地方協会は慣例として、夏または秋に始まるシーズンの前に、敏捷性と持久力テストで終わる共同のトレーニング期間を設定している。

これらのテストとは別個に、トップレフェリーはレフェリー委員会の立会のもとでの再度行なわれる持久力テストを受けると同時に同委員会の理論テストを受けることが義務づけられている。

ここで問題にしたいことは、トップレフェリーを含む多くのレフェリーが、テストを受けることに何らかの抵抗意識を持っており、特に持久力テストにその傾向が見られる。その理由というのは、これらのテストは、ハンドボールのレフェリーにとっては特に重要ではないと言うのである。しかしながら、我々はそういうことを言うレフェリーこそ重大なミスを犯すことが多いと見ている。持久力こそはレフェリーにとって最重要視されるべき資質なのである。

実際的な経験というものは、適応能力の低いレフェリーが示すレフェリーワークが、その適性不足の程度によって比例的に疲労となって現われることが明らかである。出来事への反応時間は遅くなり、動きそのもののスピードも鈍化する。このようなレフェリーは、早いうちに試合について行く能力を失ってしまうことになる。

専心集中能力または事実認定能力の低下という現象が加わることにより、コートで起きる諸々の様相に対して現実に即さない判定が引き出されることになる。こうなると、この種の疲労が禍ちを自ら招く、自ら墓を掘る、またはしなくてもよい負傷事故につながる危険性が一層増大することが明らかである。

レフェリーは試合管理のため理論的にも身体的にもベストコンディションを整えるべきであるが、それとは別に試合中に起こる困難問題を適切に処理するため、ある一定の経験を持つようにすべきである。

レフェリーの経験は、一般的にその管理した試合の数とその内容の困難度によって質の高いものとなる。しかしながら、我々としては、レフェリー経験がこのやり方で得られるとするにはいささか不安を感じている。個々のレフェリーは単なる観覧者の一人としてではなく、指名されたレフェリーとしての気がまえでできるだけ多くの試合を観察し、各種の状況を評定し、相応の判定を下すようにすべきである。

規則委員会は、すべてのレフェリー活動を均質調整することと、トップレフェリーの研修についてIHFに責任を負っている。委員会は常時、後者の「研修義務」と、この目的達成のため下記のような諸活動に最大の注意力を集中させている。

◇シンポジウムで各国の審判部長やチーフコーチやレフェリーに対して発表する各種大会試合の状況説明内容を準備する。これらはすべてのレフェリーのガイドラインとなるものである。

◇主として、トップレフェリー育成のための各国の講習会（それは決して他のレフェリーを含まないという意味ではない）の開催について支持援助を与える。この講習会では、PRCは加盟

Your Staff Daiwa
これからの時代、情報と金融は〈ダイワ〉が大いにお役に立てる分野です。


大和銀行


国協会がIHFの公式テスト受験の講習会に出席する候補者を選ぶとか、講師を派遣することなどで協力する。

◇ヨーロッパカップ大会の試合を観察し、試合後、当該レフェリーと評価・批評をする。この時PRCはIHFのインストラクターや観察者から無制限の援助を保証される。

◇ヨーロッパカップ大会、世界選手権大会ならびにその予選、オリンピック大会とその予選などのIHFの公式イベントの直前に、主要ルール解釈の統一、たとえば、罰則反則プレーヤーの対敵行動の関連、非スポーツ的行為の防止排除、段階的罰則適用、攻撃側の反則、アドヴァンテージルール適用、試合時間中断などについて、ミニコースの開催を企画する。

◇これらのイベント大会でレフェリーの吹笛、演技を観察し、彼らの演技の質を高めるとともにトレーニングも進歩させることを目的として、個々またはペアレフェリーに対し、またはレフェリー全員集会席上で判定の正誤についての論評を行う。PRCは、前記の大会以外の親善試合大会にも支援助力を惜しむものではないが、IHF総会としては、現在は残念ながら十分な受け入れ体制がない。全面的な理解が不十分であるとの理由でこれらの申し出をことわっている状態である。

◇トップレフェリーのための2年に1度の研修会の開催はIHFの最大イベントである世界選手権大会やオリンピック大会に吹笛依頼する上でトップレフェリーの中でもベストなものを選び出すことを目的としているが、ここではレフェリーは理論と実施と体力テストを受けることが付随しており、レフェリングの詳細にわたってしかもデリケートな問題についての討論会にも出席しなければならないし、もちろんのこと彼らの演技吹笛内容はビデオテープによって討論の材料とされることになる。

◇我々のこの発表は、ルーマニアでのレフェリートレーニングシステムを参考引用していることはおわかりの通りであるが、我々としては、このシステムがベターであると思っているが決してベストであるとは思っていない。そこで、我々は今回このシンポジウムの討論で、参加者各位がトップレフェリー研修のベストシステムを導き出すことを期待し、確信している次第である。

今までの議論の過程では、そのねらいがPRCが関与しているエリートレフェリー（トップレフェリー）練習の方法・手段およびその体制を分析・検討することと、PRCが寄与・貢献すべきこの特段に重要な問題の改善に向けての提言となるものであることを忘れないようにして頂きたい。我々は参加者各位に対して、各種の主要な親善試合にもPRCが関与し、後見補佐の役割を果たすようになることについて意見を述べられることを願ってやまない。

ヴァシレ・シデア

1989 IHFシンポジウムレポートNo5

細心かつ慎重に観察すること

IHF／PRC理事　テオ・キールホーン（オランダ）

今や試合観察という専門分野のレベルを向上させること（地域、地方、連盟または全国的な協会規模で）は、緊急重要課題の一つとなっている。

レフェリーの実際の演技の観察に当たって思うことは、それが常にでたとこ勝負、行き当たりバッタリ、つまりでたらめであり、観察者は観察者でその任務に当たって十分な資格、素養を備えているとは言いがたい場面がしばしば見られる。個人的にも物質的にも審判または制限された状態の中ということを考慮しても、レフェリーという存在は試合のたびごとに特定の観察システムによってその所属する国の協会組織内での昇進・降格の査定、評価を受けることになっている。

レフェリー観察者は以下の事柄（前提条件）を心得てちなければならない。

◇観察者は現役のレフェリーであるかまたは現役を離れてそんなに時間が経っていない人が当たらなければならない。

◇観察者は観察分野でできるだけ多くの経験を持っていなければならない。



日本が生んだ世界のボール
日本ハンドボール協会検定球（J・H・A）
タチカラシムレスボール
タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。
TACHIKARA タチカラ株式会社
東京都台東区松ヶ谷1-11-7
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

◇観察者は常に中立的立場をとらなければならない。

◇観察者はその仕事をするについて明確な統一見解を表現できるように学習しなければならない。

中立立場の観察者はレフェリーが直面する困難の程度に応じて、レフェリー自身がその役割について反省批評できるよう援助提言するために任命された存在である。

換言するならば、レフェリーが助言を得れば、それに従うという態度をとることである。このことについての話し合いは、パートナーたるレフェリーと観察者相互の協調性を前提とした信頼と親愛感あるやりとりがあってこそ最善の成功につながるものである。

試合の講評、分析については、試合終了直後でなく、できるだけ時間的にも空間的にも若干の余裕をおけば、パートナーにとって学習的雰囲気が高まり教育的助言が実りあるものとなるであろう。この種の自己批判は誰にとってもあまり楽しいものではないし、何もミスを好んで承知の上でやっている訳ではないが、基本的にはあくまでも正直で誠実さが条件である。

観察表に精細に記入することは言うまでもなく審判長や審判指導員にとっては、好都合のものであるが、個々のレフェリーにとっては、その演技改善に必ずしも良い影響をもたらすとは限らない。むしろレフェリーは、その演技内容について直接にフィードバックしてもらうことを期待している。このように考えてみれば、観察者は常に試合終了後（ハーフタイムは不可）の時を選んでレフェリーと懇談することの重要さが理解できるであろう。この場合に考えられる必理的な側面についての要点を次に記す。

討論懇談のためのお膳立てとして

◇適当な部屋（更衣室とか体育館の談話室は適当でない）。

◇お互いの座る位置どりに配慮すること。

◇時間を十分とること（観察者は一方的に喋ってはならない。相互の会話が成立するようにすべきである。全員が喋る機会が得られるようにする）。

◇会話が第三者により中断または妨害されたりしないように配慮する。

話の進め方について

◇まず肯定的プラス面（良かった点）を強調することから話を始めるようにする。

◇話のテーマをそれぞれの目的にかなった部分、項目に区分する。

◇それぞれの項目について独自に分離して話を進める。

◇相手に十分発言させるようにする。

◇何でも知っているといった独善的態度はとらないこと。

◇否定的マイナス面（悪かった点）については個人を対象とした避難的な表現を避けた上で、しかもはっきりとわからせるように話すべきである。

◇同じ過ちを将来繰り返さないようにとの意味をこめての助言・示唆であることを理解させる。

◇部分的観察内容を簡潔にまとめてこそ、より良い理解に到達する。

◇そして会談は、了解、一致をもって終わるようにする。

観察者としてレフェリーに対する態度は同じ仕事をする仲間として、終始寛容に振る舞うべきである。

我々の数多くの調査もしくは個々の経験に照らしても、人間が見る以上、正確無比などは考えられず、それがエラーの根本的発生原因であることを認める次第である。

観察に仕方によって起こる過誤についてのまとめ、

1．ただ一度だけまたは時間的な特徴を見ただけで過早に結論を出してしまうこと。

この種の過ちは、観察時間が短いか（少ないこと）、いろいろな動きの前後関係の短い部分だけを見た時に起こりがちである。先入観とか偏見誤解とも言える判断の型式化がこの過ちの根元と考えてよい。

○対処法

一定の方向線、指標を持っていろいろな着眼点を列挙することにより、観察の基礎となる考え方を表現する（複数の証明方法によること）。

2．レフェリーが実際に経験することと、観察者のそれとの間に特色の相違を考慮せずに意見を形成してしまうこと。これはレフェリーと観察者が相互に異なった人格性に立つと同時にプレーの様相についても、それぞれの主観にとらわれてしまうので、最も不適切な状態となる。

○対処法

このような問題ある人間関係が発生したならば、これがそれ以上に悪くならないように最大の注意を払うべきである。そこで勝手に個々に基準を造り出して、そこから結論を引き出してしまうようなことにならないよう行動すべきである。

3．ひとりよがりの（主観的な）観念思考に陥ること。

観察者とレフェリーの間柄が親密で心情的に結ばれていると（同郷または同国人、親友、旧友、共通の利害関係）、往々にして、発生事件に独善的な排他的な見方をしたり、誤まった解釈に陥ったりするものである。この傾向は、狭い仲間同志の高尚過ぎる意見になりがちである。

○対処法

もしこのような具体的状況

A4版84ページ・カラーページにスーパーショット満載！
月刊誌スポーツイベントハンドボール
毎月20日全国書店にて発売中！
1冊￥600 年間購読（1年間12冊・￥7,200／半年間6冊・￥3,600）
㈱スポーツイベント　〒101 東京都千代田区神田小川町1-9 川上ビル3F　☎03-294-5231㈹

が見られたならば、直ちに強く注意を促し、意見発表はできる限りの容観的原則に基づいて行なうことが絶対であることを求める。

4．偶発的または臨時のできる経験に基づいてそれを一般論としてしまうこと。

我々は今まで数知れぬ対人関係の中で、何らかの経験を学びとってきた。特に、利害関係のある協会が強い同情的支援とか、毛ぎらい的反感を表面に出して来るようであれば、それを一般論としてしまわないように注意を促す。

○対処法

これらの奇妙と言うか、特別の同情とか反感的な感情については、レフェリー・観察者共々に時宜を失することなく確認し、冷静で分別ある分析をすべきである。（貴下は特定のレフェリーに対して好悪の念を持っているか？）

5．称賛と非難について（ほめること、けなすこと）

表現の仕方によっては（余りにも強い表現であれば）人によっては逆効果的な受け取り方をしてしまう傾向がある。同時に明らかな欠点について、それをすると全体評価に決定的な影響を与えてしまうことになる。

○対処法

この現象の発生に注意するとともに、ポジティブ（プラス）、ネガティブ（マイナス）の両面とその他の観点から評価を分化区別するように努める。

6．自己を容観視すること（自己投影）

人は誰もが観察される状態におかれると、それは自身にとって重大であるため、観察結果の動機とか論拠について知りたいという傾向がある。この論拠については当然評価の対象となる。

○対処法

完全で合理的な自己認識と自己を容観視するための能力、知識が土台となっている。

終に臨んで、私は全世界各地からきた審判部長諸氏に、次のことを要望し理解を得たいと思う。皆さんの国のレフェリーの資質は、ただ単に所定の要求事項を満たしているだけであり、もしレフェリーの仕事の内容について十分の専門的理論を備えた観察者が同行するのであれば、問題・課題を熟慮検討する上で、その人が実際に面倒を見てくれることになるであろう。

御静聴を感謝する

テオ・キールホーン



あらゆる用途の特殊鋼、そして各種機械製品の供給を通じて未来社会の建設に参加している大同特殊鋼。私たちのテクノロジーは、宇宙開発に、原子力開発に、そしてあらゆるエレクトロニクス産業に、いま大きく花開こうとしています。より豊かな明日を、あなたとともに築くために――――。



大同特殊鋼

本　社　〒460 名古屋市中区錦1－11－18（興銀ビル）
☎(052) 201－5111（大代）
支　社／東京　　支　店／大阪

各地の記録から…

東北

全国高校選抜青森県2次予選

（1月11日／弘前市民体育館）

〈男子〉

▼リーグ戦

野辺地 27-13 青森
青森商 26-3 三本木
青森 20-14 三本木
青森商 17-14 野辺地
野辺地 21-7 三本木
青森商 29-13 青森

〔順位〕①青森商②野辺地③青森④三本木

〈女子〉

▼リーグ戦

青森西 20-7 野辺地
青森中央 22-13 野辺地
青森西 13-12 青森中央

〔順位〕①青森西②青森中央③野辺地

関東

群馬県高校新人大会

（11月4～19日／吉井高ほか）

〈男子〉

▼予選リーグAブロック

富岡実 19-10 太田市商
高崎工 23-19 太田市商
富岡実 18-13 高崎工
桐生 13-11 高崎工
富岡実 16-7 桐生
太田市商 15-9 桐生

▼同Bブロック

前橋商 22-10 育英
前橋 19-2 育英
富岡 22-1 育英
富岡 21-11 前橋
富岡 22-5 前橋商
前橋 16-10 前橋商

▼同Cブロック

下仁田 21-13 藤岡
下仁田 29-13 桐生工
桐生工 22-9 藤岡

▼同Dブロック

吉井 25-8 高崎東
高崎東 15-13 玉村
吉井 28-13 玉村

▼2位リーグ

前橋 22-11 高崎工
高崎東 19-16 桐生工
前橋 22-14 桐生工
高崎東 27-18 高崎工
高崎工 22-21 桐生工
前橋 11-11 高崎東

▼1位リーグ

富岡 25-11 富岡実
吉井 21-11 下仁田
富岡 27-11 下仁田
吉井 26-6 富岡実
富岡実 16-14 下仁田
富岡 22-20 吉井

〔順位〕①富岡②吉井③富岡実

〈女子〉

▼予選リーグAブロック

高崎東 15-6 富岡実
桐生女 16-11 富岡実
高崎東 27-8 桐生女

▼同Bブロック

群馬女 16-1 高崎女

▼同Cブロック

桐生西 13-1 下仁田

▼同Dブロック

吉井 20-2 前橋商

▼2位リーグ

桐生女 24-9 高崎女
下仁田 28-4 前橋商
下仁田 14-12 高崎女
桐生女 21-10 前橋商
高崎女 21-10 前橋商
下仁田 17-7 桐生女

▼1位リーグ

群馬女 18-9 高崎東
桐生西 20-12 吉井
群馬女 18-17 桐生西
桐生西 16-7 高崎東
吉井 13-11 高崎東
群馬女 20-20 吉井

〔順位〕①群馬女大附②桐生西③吉井

第30回群馬県総合選手権

（1月14、15日／前橋市民体育館）

〈男子〉

▼1回戦

吉井高OB 35-13 下仁田高
群馬大 24-21 富岡実高

▼2回戦

富岡高OB 27-22 吉井高OB
富岡クラブB 35-22 前工クラブ
富岡高 42-9 ティーチャーズ
前橋クラブ 27-23 甘楽クラブ
群馬教員 33-11 藤岡クラブ
吉井高 23-11 下仁田高OB
前橋市役所 31-21 桐生クラブ
富岡クラブA 31-13 群馬大

▼3回戦

富岡高OB 28-17 富岡クラブ
富岡高 35-20 前橋クラブ
群馬教員 26-15 吉井高
富岡クラブA 27-15 前橋市役所

▼準決勝

富岡高OB 29-26 富岡高
富岡クラブA 18-18 群馬教員（3PTC2）

▼決勝

富岡高OB 23（9-10、8-7、4-1、2-3）21 富岡クラブA

〈女子〉

▼1回戦

前橋クラブ 11-6 桐生西高OG
吉井高 35-6 下仁田高OG

▼2回戦

群女短大附高 27-5 前橋クラブ
光電クラブ 20-11 高崎東高
桐生西高 27-7 吉井高OG
吉井高 28-10 高崎スカイライン

▼準決勝

群女短大附高 20-9 光電クラブ
吉井高 11-9 桐生西高

▼決勝

群女短大附高 20（11-5、9-5）7 吉井高

東海

三重県高校秋季大会

（11月12～23日／霞ケ浦体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦

四日市四郷 16-9 桑名北
亀山 22-16 四日市南
桑名 20-5 上野工
津東 27-18 海星
尾鷲 20-14 高田

▼2回戦

四日市工 18-15 四日市四郷
桑名工 22-13 四日市西
名張西 16-11 四日市中央工
亀山 25-5 津
桑名 15-12 四日市
津東 21-11 川越
津工 16-10 津西
桑名西 20-11 尾鷲

▼3回戦

四日市工 27-9 桑名工
亀山 25-13 名張西
津東 12-10 桑名
桑名西 28-4 津工

▼準決勝

四日市工 28-15 亀山

桑名西 12－9 津東

▼3位決定戦

亀山 22－19 津東

▼決勝

四日市工 28（17－3, 11－2）5 桑名西

〈女子〉

▼1回戦

四日市商 27－7 尾鷲

▼2回戦

晩 14－9 四日市商
川越 15－14 上野
四日市四郷 13－11 桑名西
四日市 15－5 津
名張西 13－12 四日市西
四日市南 24－1 津西
桑名 30－3 亀山
津東 11－2 松阪女

▼3回戦

晩 19－1 川越
四日市 12－9 四日市四郷
四日市南 12－5 名張西
津東 15－5 桑名

▼準決勝

晩 35－0 四日市
津東 14－12 四日市南

▼3位決定戦

四日市南 23－7 四日市

▼決勝

晩 23（13－5, 10－3）8 津東

岐阜県高校新人大会

（12月25、26日／岐阜県民体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦

斐太 18－10 池田
岐阜南 18－3 大垣工
可児 17－8 各務原
加納 19－13 中京商

▼2回戦

県岐阜商 26－15 斐太
岐阜南 19－16 岐阜東
市岐阜商 27－8 可児
各務原西 22－18 加納

▼準決勝

県岐阜商 23－15 岐阜南
市岐阜商 19－8 各務原西

▼3位決定戦

岐阜南 18－15 各務原西

▼決勝

市岐阜商 15（7－7, 8－7）14 県岐阜商

〈女子〉

▼1回戦

可児 13－3 岐山
瑞浪 10－5 加納
各務原西 9－4 益田
富田女 19－4 海津

▼2回戦

県岐阜商 24－7 可児
瑞浪 9－7 大垣女
高山 12－7 各務原西
養老女商 14－9 富田女

▼準決勝

県岐阜商 24－6 瑞浪
養老女高 16－10 高山

▼3位決定戦

高山 19－4 瑞浪

▼決勝

県岐阜商 17（10－8, 7－5）13 養老女商

三重県高校新人大会

（1月14、15、21日／四日市市体育館）

〈男子〉

▼1回戦

津西 11－9 名張西
桑名工 19－10 桑名北
桑名 19－9 海星
尾鷲 22－8 津工
津東 16－15 四日市

▼2回戦

四日市工 39－3 津西
四日市西 16－13 上野工
高田 18－11 四日市中央工
桑名工 24－6 川越
桑名 11－10 亀山
津 15－9 尾鷲
四日市四郷 16－14 四日市南
津東 16－8 桑名西

▼3回戦

四日市工 31－9 四日市西
桑名工 25－8 高田
桑名 13－11 津
四日市四郷 13－9 津東

▼準決勝

四日市工 28－11 桑名工
桑名 14－7 四日市四郷

▼3位決定戦

四日市四郷 17－16 桑名工

▼決勝

四日市工 26（11－5, 15－6）11 桑名

〈女子〉

▼1回戦

晩 52－2 松阪女
桑名西 12－11 四日市西
四日市商 23－6 尾鷲
名張西 18－9 津
四日市南 16－3 桑名
四日市 棄権 津西
川越 16－12 上野
津東 42－2 亀山

▼2回戦

晩 30－3 桑名西
四日市商 23－10 名張西
四日市南 16－5 四日市
津東 19－2 川越

▼準決勝

晩 18－1 四日市商
津東 14－13 四日市南

▼3位決定戦

四日市商 20－11 四日市南

▼決勝

晩 23（10－4, 13－6）10 津東

東海室内三重県予選

（1月14、28日／四日市市体育館ほか）

〈一般男子〉

▼1回戦

本田技研鈴鹿 40－8 西笹川ク
本田ク 34－18 鵜ノ森ク
三重教員 36－11 鳥羽商船
本田爽風会 43－14 四日市中央ク

▼準決勝

本田技研鈴鹿 29－13 本田ク
本田爽風会 28－19 三重教員



中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長　中村昭光

本社　〒108 東京都港区芝浦2－3－39

電話 東京（03）451－4161（代）

▼決勝
本田技研鈴鹿 25（12－10、13－6）16 本田爽風会

第16回三重県中学生新人大会

（1月28日、2月4日／鈴鹿市体育館）

〈男子〉

▼1回戦
朝明 9－7 白子

▼2回戦
西笹川 15－9 菰野
亀山 36－1 南
西朝明 13－4 東員第二
笹川 27－7 朝明

▼準決勝
笹川 20－5 西笹川
亀山 23－11 西朝明

▼決勝
亀山 10（5－3、5－6）9 笹川

〈女子〉

▼1回戦
三雲 13－9 柘植
名張北 15－3 羽津

▼2回戦
亀山 24－7 赤目
北勢 18－8 菰野
大安 15－8 阿山
笹川 16－1 桔梗が丘
朝明 11－1 東員第二
西朝明 10－5 南
西笹川 33－6 三雲
白子 26－1 名張北

▼3回戦
北勢 7－6 亀山
笹川 6－0 大安
西笹川 12－9 朝明
白子 20－6 西朝明

▼準決勝
西笹川 13－10 北勢
白子 10－8 笹川

▼決勝
白子 16（7－6、4－5、4－0、1－2）13 西笹川

近畿

京都府高校新人大会

（10月29日～11月26日／太陽ヶ丘体育館ほか）

〈男子〉

▼予選リーグAブロック
北嵯峨 26－0 成章
北嵯峨 23－4 鴨沂
北嵯峨 10－6 山城
山城 17－8 成章
山城 20－7 鴨沂
成章 16－15 鴨沂

▼同Bブロック
桂 12－12 東山
桂 23－2 田辺
桂 20－3 両洋
桂 19－9 城南
東山 19－7 田辺
東山 23－5 両洋
東山 14－10 城南
城南 19－7 田辺
城南 20－6 両洋
両洋 11－9 田辺

▼同Cブロック
京都西 21－10 城陽
京都西 16－8 洛星
京都西 23－10 向陽
京都西 26－9 桃山
洛星 19－14 城陽
洛星 20－12 向陽
洛星 14－13 桃山
向陽 16－12 城陽
向陽 15－11 桃山
桃山 15－12 城陽

▼同Dブロック
東宇治 19－6 同志社
東宇治 29－4 木津
東宇治 18－8 京都商
東宇治 21－7 堀川
京都商 17－9 同志社
京都商 19－12 木津
京都商 14－7 堀川
堀川 11－10 同志社
堀川 19－10 木津
同志社 15－7 木津

▼同Eブロック
洛北 15－6 洛東
洛北 13－9 洛水
洛北 18－13 伏見工
洛水 16－8 伏見東
洛水 21－7 伏見工
伏見工 18－14 洛東

▼同Fブロック
久御山 31－7 洛陽工
久御山 10－9 東稜
久御山 13－12 日吉丘
東稜 12－0 洛陽工
東稜 21－10 日吉丘
日吉丘 33－2 洛陽工

▼同Gブロック
西宇治 14－8 乙訓
西宇治 16－6 塔南
西宇治 11－6 西乙訓
乙訓 19－12 塔南
乙訓 22－10 西乙訓
塔南 12－10 西乙訓

▼同Hブロック
大谷 24－5 北稜
大谷 21－17 嵯峨野
大谷 21－8 平安
嵯峨野 17－7 北稜
嵯峨野 14－13 平安
平安 19－9 北稜

▼決勝トーナメント1回戦
北嵯峨 18－9 乙訓
京都西 21－8 京都商
洛水 12－11 久御山
桂 24－13 嵯峨野
東山 20－13 洛北
大谷 19－10 山城
西宇治 14－13 東稜
東宇治 17－16 洛星

▼同2回戦
京都西 16－15 北嵯峨
桂 18－11 洛水
大谷 19－11 東山
東宇治 14－12 西宇治

▼準決勝
桂 27－13 京都西
大谷 19－16 東宇治

▼3位決定戦
京都西 17－15 東宇治

▼決勝
大谷 23（12－7、11－11）18 桂

〈女子〉

▼予選リーグアブロック
東稜 23－4 桃山
東稜 28－0 久御山
東稜 26－7 塔南
塔南 10－9 桃山
塔南 11－9 久御山
桃山 10－1 久御山

▼同イブロック
京都女 23－3 城南
京都女 14－1 南八幡
京都女 10－3 桂
京都女 18－0 鴨沂
桂 13－3 城南
桂 13－9 南八幡
桂 17－2 鴨沂
城南 8－6 南八幡
城南 10－3 鴨沂
南八幡 15－4 鴨沂

▼同ウブロック
洛水 23－9 日吉丘
洛水 17－6 精華
洛水 23－5 府立商業
精華 13－6 日吉丘
精華 10－3 府立商業
府立商業 6－5 日吉丘

▼同エブロック
東宇治 21－4 山城
東宇治 24－1 八幡
東宇治 19－4 乙訓
東宇治 18－5 西山
西山 10－3 山城
西山 16－3 八幡
西山 12－9 乙訓

乙訓 7-5 山城
乙訓 8-4 八幡
山城 7-4 八幡

▼同オブロック
西宇治 18-2 田辺
西宇治 12-9 北嵯峨
西宇治 18-8 光華
西宇治 10-5 明徳商
北嵯峨 24-4 田辺
北嵯峨 11-4 光華
北嵯峨 11-9 明徳商
光華 10-6 田辺
光華 8-7 明徳商
明徳商 11-3 田辺

▼同カブロック
向陽 26-2 西乙訓
向陽 26-3 城陽
向陽 18-5 北稜
向陽 8-4 洛北
洛北 26-4 西乙訓
洛北 20-1 城陽
洛北 25-2 北稜
北稜 12-4 西乙訓
北稜 10-6 城陽
城陽 10-5 西乙訓

▼決勝トーナメント1回戦
京都女 10-7 西山
精華 13-12 北嵯峨
東宇治 27-11 塔南
桂 8-5 洛北

▼同2回戦
東稜 11-4 京都女
向陽 14-4 精華
東宇治 12-7 洛水
西宇治 15-10 桂

▼準決勝
向陽 15-12 東稜
東宇治 21-10 西宇治

▼3位決定戦
東稜 13-8 西宇治

▼決勝
東宇治 20（8-4、12-10）14 向陽

第41回大阪府高校新人大会

◎北地区予選（10月29、11月3、5日）

〈男子〉

▼1回戦
大阪学院 12-0 渋谷
箕面 14-12 北千里
豊中 28-10 東淀工
都島工 34-8 西野田工
山田 18-12 池田北
市岡 19-16 池田
東淀川 31-7 西淀川
桜塚 19-16 吹田東
東豊中 19-18 千里

▼2回戦
大阪商 33-4 大阪学院
豊島 13-11 箕面
都島工 26-6 豊中
北野 35-10 山田
桜宮 29-11 市岡
東淀川 37-8 扇町
桜塚 20-8 刀根山
北陽 27-7 東豊中

▼3回戦
大阪商 34-15 豊島
都島工 29-10 北野
桜宮 26-10 東淀川
北陽 25-11 桜塚

▼準決勝
大阪商 23-22 都島工
北陽 18-14 桜宮

▼3位決定戦
都島工 14-7 桜宮

▼決勝
北陽 19-14 大阪商

〈女子〉

▼1回戦
東豊中 12-6 豊島
池田北 15-11 梅花
北野 24-5 市岡

▼2回戦
宣真 49-1 東豊中
成蹊 24-10 桜塚
千里 17-11 東淀川
金蘭会 18-8 池田北
桜宮 22-1 池田
箕面 10-9 豊中
刀根山 19-7 薫英
福島女 34-8 北野

▼3回戦
宣真 40-6 成蹊
金蘭会 17-5 千里
箕面 13-10 桜宮
福島女 21-6 刀根山

▼準決勝
宣真 40-4 金蘭会
福島女 25-7 箕面

▼3位決定戦
金蘭会 10-8 箕面

▼決勝
宣真 16-8 福島女

◎南地区予選（10月29、11月3、5日）

〈男子〉

▼1回戦
富田林 16-11 登美丘
泉北 42-6 泉大津
泉陽 25-19 和泉
信太 19-13 和泉工
久米田 棄権 佐野工
岸和田 19-14 堺工
金岡 11-11 堺東 3PTC1

▼2回戦
初芝 38-10 富田林
泉北 16-16 商大堺 3PTC2
泉陽 33-16 長野
鳳 37-8 信太
三国丘 31-3 久米田
堺工 14-11 堺西
岸和田 18-14 高石
大体大浪商 37-6 金岡

▼3回戦
初芝 12-12 泉北 3PTC2
鳳 19-8 泉陽
三国丘 33-3 堺工
大体大浪商 16-15 岸和田

▼準決勝
初芝 30-15 鳳
三国丘 17-12 大体大浪商

▼3位決定戦
大体大浪商 16-13 鳳

▼決勝
初芝 16-15 三国丘

〈女子〉

▼1回戦
佐野 18-10 東百舌鳥

▼2回戦
初芝 46-0 佐野
三国丘 16-9 久米田
高石 23-3 貝塚南
富田林 14-8 堺東
泉北 19-6 岸和田産
鳳 20-5 泉大津
住吉商 16-8 長野
住吉学園 22-7 和泉

▼3回戦
初芝 28-9 三国丘
富田林 8-6 高石
泉北 12-12 鳳 3PTC2
住吉学園 22-7 住吉商

▼準決勝
初芝 37-3 富田林
住吉学園 11-7 泉北

▼3位決定戦
富田林 9-5 泉北

▼決勝
初芝 31-9 住吉学園

◎中地区予選（10月29、11月3、5日）

〈男子〉

▼1回戦
住吉 24-3 池島
八尾 12-10 東大阪
阪南 10-3 高津
天王寺 34-1 藤井寺
八尾東 15-6 東住吉
城南 11-7 大和川

▼2回戦
四天王寺 29-1 住吉
阪南 23-5 八尾
天王寺 23-6 八尾東
信愛 7-6 城南

▼準決勝
四天王寺 19－5 阪南
天王寺 18－12 信愛
▼3位決定戦
阪南 15－11 信愛
▼決勝
四天王寺 24－4 天王寺

〈女子〉
▼1回戦
藤井寺 23－3 勝山
池島 18－12 港南
大和川 16－10 大教大平野
天王寺 25－5 住吉
花園 25－19 阿倍野
高津 22－11 東住吉工
八尾 28－7 八尾東
生野 21－14 柏原
阪南 27－10 藤井寺工
▼2回戦
桃山学院 36－4 藤井寺
清風 31－10 池島
天王寺 23－16 大和川
羽曳野 26－8 花園
此花学院 26－8 高津
八尾 19－12 東住吉
生野 27－19 山本
上宮 35－12 阪南
▼3回戦
桃山学院 33－6 清風
天王寺 26－15 羽曳野
此花学院 24－8 八尾
上宮 31－11 生野
▼準決勝
桃山学院 34－9 天王寺
此花学院 15－9 上宮
▼3位決定戦
上宮 20－12 天王寺
▼決勝
桃山学院 21－12 此花学院

◎東地区予選
（10月29、11月3、5日）

〈男子〉
▼1回戦
春日丘 26－4 守口北
芥川 22－3 鳥飼
淀川工 23－10 門真
摂津 23－9 西寝屋川
大東 15－7 城東工
枚方 18－14 四条畷
加納 22－14 高槻北
摂陵 27－3 茨木
寝屋川 24－17 牧野
島上大冠 14－12 磯島
交野 17－9 島本
三島 16－9 南寝屋川
▼2回戦
門真南 15－15 春日丘（4PTC3）
芥川 17－12 淀川工
摂津 18－8 大東
枚方 27－10 同志社香里
長尾 19－8 加納
摂陵 22－11 寝屋川
交野 17－14 島上大冠
島上 27－16 三島
▼3回戦
門真南 32－13 芥川
摂津 21－10 枚方
長尾 13－13 摂陵（3PTC2）
島上 28－10 交野
▼準決勝
摂津 16－14 門真南
長尾 22－15 島上
▼3位決定戦
島上 30－17 門真南
▼決勝
長尾 19－9 摂津

〈女子〉
▼1回戦
長尾 18－12 茨木東
香里丘 33－4 南寝屋川
門真 17－6 東寝屋川
▼2回戦
春日丘 30－3 長尾
寝屋川 28－3 芥川
門真南 23－3 守口北
大阪市立 10－9 島上
西寝屋川 25－7 香里丘
枚方 14－5 茨木
大東 11－7 牧野
摂津 18－7 門真
▼3回戦
春日丘 17－7 寝屋川
大阪市立 14－11 門真南
西寝屋川 23－5 枚方
摂津 27－6 大東
▼準決勝
春日丘 26－6 大阪市立
西寝屋川 16－13 摂津
▼3位決定戦
摂津 14－11 大阪市立
▼決勝
春日丘 16－16 西寝屋川（3PTC2）

◎中央大会
（11月19、23日）

〈男子〉
▼1回戦
長尾 19－12 鳳
上宮 16－15 大阪商
初芝 15－12 門真南
此花学院 10－10 都島工（4PTC3）
北陽 28－11 天王寺
三国丘 18－11 島上
桃山学院 17－14 桜宮
摂津 15－13 大体大浪商
▼2回戦
上宮 27－9 長尾
初芝 11－11 此花学院（3PTC2）
北陽 17－10 三国丘
桃山学院 32－11 摂津
▼準決勝
初芝 19－12 上宮
桃山学院 14－14 北陽（2PTC1）
▼決勝
桃山学院 17（5－6、12－10）16 上宮

〈女子〉
▼1回戦
宣真 35－2 信愛
西寝屋川 17－8 富田林
初芝 41－3 大阪市立
金蘭会 11－10 天王寺
春日丘 21－12 箕面
阪南 17－9 住吉学園
四天王寺 23－0 泉北
福島女 20－9 摂津
▼2回戦
宣真 26－5 西寝屋川
初芝 41－3 金蘭会

一瞬のきらめきと
積極果敢な
チャレンジャー

誰もいないグランド、音のない体育館。そこにスポーツという魔法がかかると、一瞬のうちに興奮のるつぼと化してしまう。

セノーも誇り高きチャレンジャー。より良質の素材を求め、より精巧な製品を生み出す努力と情熱は、世界中のプレイヤーの額に光る一粒の汗と同じです。

日本ハンドボール協会検定工場
Senoh®
本社／東京都千代田区神田司町2-7 ☎(03)292-5411

春日丘 17-9 阪南
福島女 10-9 四天王寺

▼準決勝
宣真 11-8 初芝
福島女 18-13 春日丘

▼決勝
宣真 24（12-1、12-4）5 福島女

中国

山口県高校新人大会

（11月19、20日／徳山市体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦
田部 30-18 南陽工
宇部工 22-9 西京
華陵 21-14 野田学園
徳山工 22-16 防府商
岩陽 26-10 下関工
徳山 26-16 下関西

▼2回戦
下松工 39-5 田部
小野田工 11-9 宇部工
山口 22-7 広瀬
高水 30-4 華陵
下関中央工 31-10 徳山工
岩国工 21-14 下松
岩陽 26-10 下関工
岩国 18-13 徳山

▼3回戦
下松工 31-6 小野田工
高水 20-6 山口
岩国工 17-14 下関中央工

▼準決勝
岩国 14-3 岩陽
下松工 13-8 高水
岩国 15-10 岩国工

▼決勝
下松工 20（10-3、10-7）10 岩国

〈女子〉

▼1回戦
華陵 28-5 長府
田部 17-14 岩陽
岩国 44-6 徳山工
熊毛北 19-12 高水
岩国商 32-3 山口中央
防府商 15-14 響
徳山 14-8 西京
徳山商 18-4 防府西

▼2回戦
華陵 38-3 田部
熊毛北 26-15 岩国
岩国商 29-6 防府商
徳山商 34-6 徳山

▼準決勝
華陵 20-11 熊毛北
岩国商 19-13 徳山商

▼決勝
華陵 25（15-6、10-5）11 岩国商

広島県高校新人大会

（11月11～19日／尾道高校、山陽女子高）

〈男子〉

▼1回戦
宮原 18-13 城北
広 23-13 廿日市
三原工 21-17 誠之館
賀茂 23-10 呉商

▼2回戦
安芸南 17-10 宮原
市福山 37-7 安芸
呉昭和 27-3 松永
広 17-14 呉三津田
呉工 29-11 三原工
尾道 46-0 三次
修道 25-12 呉
呉港 32-7 賀茂

▼3回戦
安芸南 27-15 市福山
呉昭和 18-10 広
呉工 18-11 尾道
呉港 22-9 修道

▼準決勝
呉昭和 16-9 安芸南
呉港 26-13 呉工

▼3位決定戦
呉工 16-11 安芸南

▼決勝
呉港 19（12-7、7-4）11 呉昭和

〈女子〉

▼1回戦
清水ヶ丘 25-11 第一女
進徳 18-3 尾道商

▼2回戦
山陽女 32-5 清水ヶ丘
安芸南 29-2 呉宮原
賀茂 24-4 安芸
豊栄 22-12 進徳

▼準決勝
山陽女 23-5 安芸南
豊栄 20-11 賀茂

▼3位決定戦
安芸南 13-11 賀茂

▼決勝
山陽女 35（19-3、16-3）6 豊栄

全国高校選抜山口県予選

（12月26、27日／下関市体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦
徳山商 16-10 山口
西京 14-11 下関工
下松 19-3 広瀬
岩陽 37-8 南陽工
防府商 19-14 華陵

▼2回戦
下松工 19-9 徳山商
徳山工 30-20 西京
下関中央工 20-9 宇部工
岩国工 16-14 下松
高水 15-9 岩陽
徳山 17-9 下関第一
下関西 23-21 小野田工
岩国 23-8 防府商

▼3回戦
下松工 41-5 徳山工
岩国工 16-12 下関中央工
高水 21-16 徳山
岩国 32-16 下関西

▼準決勝
下松工 16-12 岩国工
岩国 13-8 高水

▼決勝
下松工 20（11-6、9-5）11 岩国

〈女子〉

▼1回戦
響 20-5 防府西
岩国 30-3 山口中央
徳山商 28-12 岩陽
熊毛北 31-4 西京
高水 20-3 防府商
長府 35-3 徳山工
岩国商 22-5 徳山

▼2回戦
華陵 38-3 響
徳山商 16-14 岩国
熊毛北 20-13 高水
岩国商 26-8 長府

▼準決勝
華陵 20-11 徳山商
岩国商 12-9 熊毛北

▼決勝
華陵 33（20-5、13-5）10 岩国商

四国

第26回香川県中学校新人大会

（12月23、24日／光洋中学）

〈男子〉

▼予選リーグaブロック
山田 22-8 紫雲
龍雲 18-8 紫雲
龍雲 21-18 山田

▼同bブロック
香川一 26-13 香川東
勝賀 20-17 香川東
香川一 23-13 勝賀

▼同cブロック

木太 20－7 光洋
光洋 14－13 古高松
木太 21－17 古高松

▼同dブロック

綾南 36－3 桜町
玉藻 24－6 桜町
綾南 34－5 玉藻

▼決勝トーナメント1回戦

光洋 18－17 龍雲
香川両 23－7 玉藻
木太 24－16 山田
綾南 20－8 勝賀

▼準決勝

香川一 20－11 光洋
綾南 17－14 木太

▼決勝

香川一 16（6－6、7－7、1－0、2－1）14 綾南

〈女子〉

▼予選リーグeブロック

木太 10－4 古高松
古高松 25－4 玉藻
木太 30－2 玉藻

▼同fブロック

香川一 21－4 香川東
香川東 9－8 紫雲
香川一 15－3 紫雲

▼同gブロック

龍雲 11－6 綾南
塩江 14－5 龍雲
塩江 11－5 綾南

▼同hブロック

山田 40－2 桜町
桜町 14－7 光洋

▼決勝トーナメント1回戦

山田 33－6 光洋
木太 27－6 龍雲
香川一 25－2 桜町
古高松 17－6 塩江
山田 23－3 香川東

▼準決勝

木太 10－4 香川一
山田 17－1 古高松

▼決勝

山田 9（3－2、6－5）7 木太

香川県高校新人大会

（日程／場所不明）

〈男子〉

▼1回戦

香川中央 34－8 三本松
高松北 21－6 高松一
高松南 25－19 寒川
高松西 19－13 高松
多度津工 13－12 丸亀
坂出工 23－6 高松東

▼2回戦

香川中央 13－12 高松商
高松南 22－15 高松北
高松西 25－11 多度津工
高松工 25－22 坂出工

▼準決勝

香川中央 27－5 高松南
高松西 23－13 高松工

▼決勝

香川中央 20（7－4、13－7）11 高松西

〈女子〉

▼1回戦

三本松 14－9 高松南

▼2回戦

高松商 18－6 三本松
高松西 19－10 香川中央
丸亀 12－6 高松北

▼準決勝

高松商 20－7 高松西
高松東 32－2 丸亀

▼決勝

高松東 22（13－7、9－10）17 高松商

全国高校選抜愛媛県予選

（1月13、14日／今治市営体育館）

〈男子〉

▼1回戦

新居浜工 11－10 松山南
今治西 25－19 松山中央

▼準決勝

松山北 20－13 新居浜工
松山工 24－18 今治西

▼決勝

松山北 19（10－4、9－8）12 松山工

〈女子〉

▼1回戦

今治東 16－1 松山西
今治南 11－10 新居浜商

▼準決勝

今治東 19－17 松山北
今治北 20－11 今治南

▼決勝

今治北 30（16－8、14－5）13 今治東

全国高校選抜香川県予選

（1月14、1[illegible]日／県体育館）

〈男子〉

▼1回戦

多度津工 16－6 高松北
三本松 18－6 高松一
高松 16－8 高松工
高松商 29－10 高松南
坂出工 18－16 寒川
丸亀 13－8 高松東

▼2回戦

香川中央 21－7 多度津工
高松 20－15 三本松
高松商 29－14 坂出工
高松西 25－9 丸亀

▼準決勝

香川中央 14－4 高松
高松西 19－18 高松商

▼決勝

香川中央 26（13－4、13－10）14 高松西

〈女子〉

▼1回戦

高松西 12－10 高松南
三本松 26－3 高松北
高松商 36－2 丸亀

▼準決勝

高松東 34－8 高松西
高松商 27－3 三本松

▼決勝

高松東 15（8－4、7－8）12 高松商

九州

第6回長崎県中学校新人大会

打ちこんでしまう性格です。
好きなことを、好きなだけやっているうちに、ここまできた。
面白いなぁ、くやしいな、うれしいなと言っているうちに、ここにいた。
ボールいっこあれば、夢中になれるボクたちは、きっと天下無類の幸せ者なんだ、と思います。
Tango®
HSH3AD タンゴ3号 ¥6,000
●天然皮革 ●最高級品・手縫い
日本リーグ男子試合球
株式会社 モルテン molten®
東京本社 東京都墨田区横川5丁目5-7 〒130 ☎03-625-7581代
大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・リノUSA・デュッセルドルフW.G.

（11月5日／長崎工業高校）

〈男子〉

▼1回戦
- 相浦 13－12 椿原
- 日吉 17－8 大瀬戸

▼準決勝
- 時津 15－13 相浦
- 日吉 20－7 大野

▼決勝
- 日吉 22（11－7、11－3）10 時津

〈女子〉

▼リーグ戦
- 柚木 12－9 相浦
- 相浦 14－4 大瀬戸
- 柚木 13－4 大瀬戸

長崎県高校新人大会

（11月11～13日／佐世保西高）

〈男子〉

▼1回戦
- 長崎工 21－16 西海
- 長崎南 31－7 鹿屋工

▼2回戦
- 日大高 24－ 上五島
- 瓊浦 26－11 佐世保商
- 佐世保西 19－10 西陵
- 大村 不戦勝 口加
- 西彼 18－14 佐世保北
- 南商 21－13 波佐見
- 長崎北 16－8 長崎工
- 長崎南 16－15 北陽台

▼3回戦
- 日大高 30－10 西彼
- 瓊浦 35－8 南商
- 長崎北 15－14 佐世保西

▼準決勝
- 長崎南 21－11 大村
- 日大高 30－9 長崎北
- 瓊浦 21－11 長崎南

▼シード決定
- 長崎北 20－13 長崎南

▼決勝
- 日大高 13（7－6、6－4）10 瓊浦

〈女子〉

▼1回戦
- 長崎北 9－8 佐世保女

▼2回戦
- 佐世保商 13－10 佐世保北
- 聖和 36－0 日大高
- 有馬商 20－6 長崎北
- 佐世保西 24－3 島原農

▼準決勝
- 佐世保商 21－5 有馬商
- 聖和 22－7 佐世保西

▼シード決定
- 佐世保西 21－6 有馬商

▼決勝
- 聖和 36（20－8、16－4）12 佐世保商

鹿児島県高校新人大会

（11月17～19日／隼人町体育館）

〈男子〉

▼予選リーグAパート
- 鹿児島工 27－0 指宿
- 鹿児島工 24－7 鹿児島商
- 鹿児島商 17－15 指宿

▼同Bパート
- 鹿児島南 13－10 加治木
- 鹿児島南 9－8 鹿児島中央
- 鹿児島中央 9－8 加治木

▼同Cパート
- 甲陵 11－4 薩南工
- 甲陵 14－10 加治木工
- 加治木工 17－9 薩南工

▼同Dパート
- 頴娃 21－9 財部
- 国分 20－3 甲南
- 甲南 13－7 財部
- 国分 14－9 頴娃

▼同Eパート
- 隼人工 13－12 鶴丸
- 鶴丸 21－10 笠沙
- 出水 21－11 笠沙
- 出水 15－8 隼人工

▼決勝トーナメント1回戦
- 国分 18－10 隼人工
- 出水 16－15 甲陵
- 鹿児島南 16－3 頴娃

▼準決勝
- 鹿児島工 22－8 国分
- 出水 15－13 鹿児島南

▼決勝
- 鹿児島工 23（13－9、10－11）20 出水

〈女子〉

▼予選リーグAパート
- 国分実 13－2 牧園
- 国分実 33－2 出水
- 鹿児島南 9－1 牧園
- 鹿児島南 29－5 出水

▼同Bパート
- 純心 22－10 串木野女
- 串木野女 11－7 鹿児島中央
- 純心 25－9 奄美
- 奄美 13－3 鹿児島中央

▼決勝トーナメント準決勝
- 鹿児島南 21－8 奄美
- 純心 13－7 国分実

▼決勝
- 純心 23（13－8、10－5）13 鹿児島南

福岡県学生新人戦

（12月9、10日／東海大学）

〈男子〉

▼1回戦
- 東和大 24－15 西南学院大
- 九州工大 19－14 産業医科大
- 熊本大 23－13 福岡工大
- 長崎総科大 30－18 福岡教大

▼2回戦
- 福岡大 17－15 東和大
- 長崎大 25－22 九州工大
- 熊本大 32－13 西日本工大
- 長崎総科大 29－26 九州大

▼準決勝
- 福岡大 33－8 長崎大
- 長崎総科大 23－19 熊本大

▼決勝
- 福岡大 29－14 長崎総科大

〈女子〉

▼1回戦
- 福岡大 23－18 福岡教大
- 九州女大 34－11 長崎大

▼決勝
- 福岡大 25－14 九州女大

各地の情報をお寄せ下さい

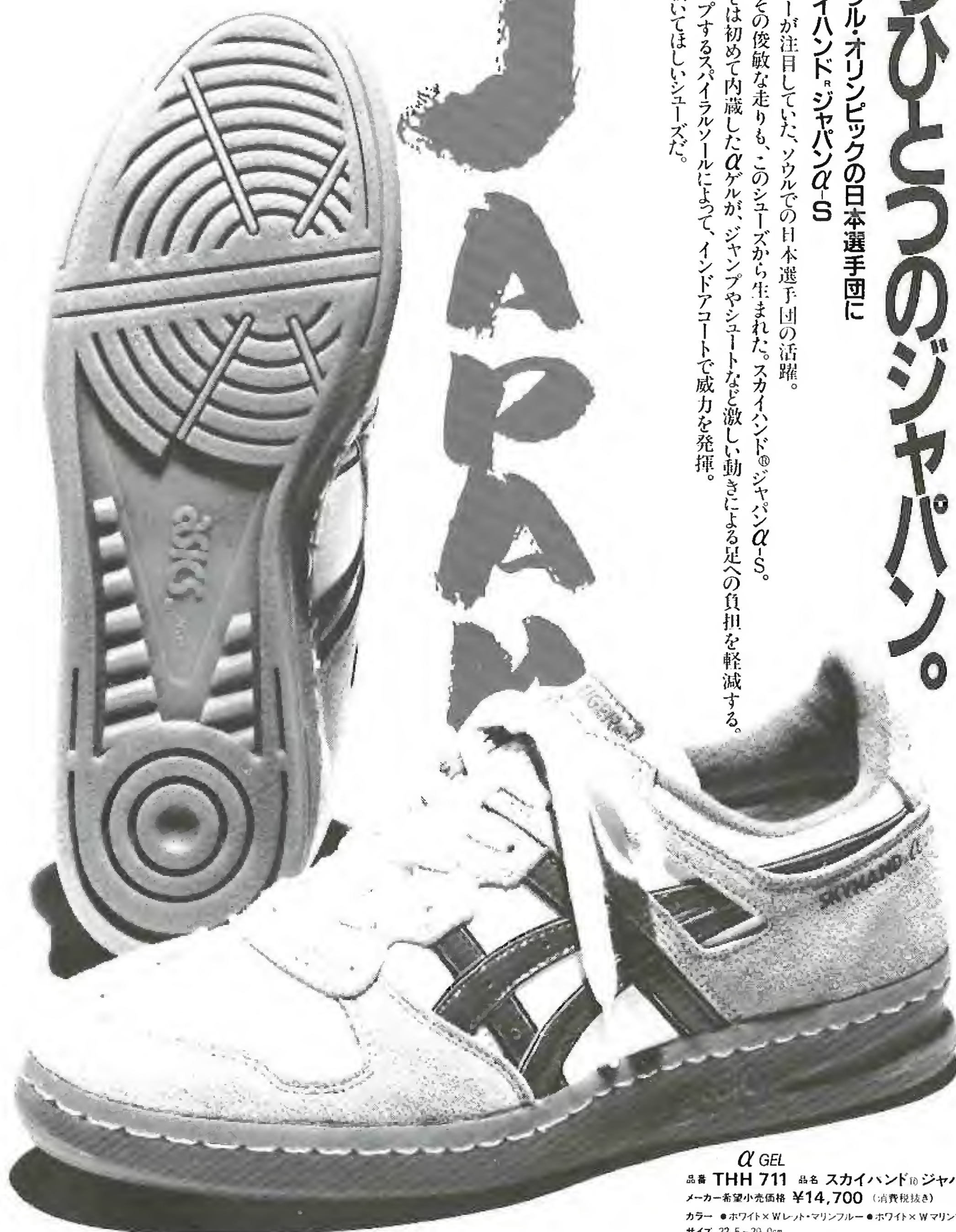
機関誌「ハンドボール」はみなさんの情報をできるだけ多く掲載したいと考えております。「各地の試合結果」「大会の予定」などの情報をどしどしお寄せ下さい。また、全日本チームへの激励などのメッセージなどもありましたらぜひお寄せ下さい。お待ちしています。

編集委員会

ソウルで活躍した、もうひとつのジャパン。

これが頂点。ソウル・オリンピックの日本選手団に採用されたスカイハンド®ジャパンα-S

すべてのハンドボーラーが注目していた、ソウルでの日本選手団の活躍。その鋭い切れ味も、その俊敏な走りも、このシューズから生まれた。スカイハンド®ジャパンα-S。ハンドボールシューズでは初めて内蔵したαゲルが、ジャンプやシュートなど激しい動きによる足への負担を軽減する。吸いつくようにグリップするスパイラルソールによって、インドアコートで威力を発揮。これは、胸をはって履いてほしいシューズだ。



α GEL
品番 THH 711 品名 スカイハンド® ジャパンα-S
メーカー希望小売価格 ¥14,700（消費税抜き）
カラー ●ホワイト×Wレッド・マリンブルー ●ホワイト×Wマリンブルー・レッド
サイズ 22.5～29.0cm

asics® TIGER®

●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックス消費者相談室までどうぞ
〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 TEL (078) 303-2233
〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL (03) 624-1814
■ Rは㈱アシックスの登録商標です

株式会社アシックス

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二九六号
昭和四十年六月[illegible] 平成二年三月二十六日 印刷
第三種郵便物認可 平成二年四月一日 発行
東京都渋谷区[illegible]一一一
電話 代表 (481)[illegible]
振替 東京 六[illegible]番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)

桜田淳子は、東洋証券が、
好きになっちゃったみたいです。

10万円から始める、あかるい財テク
中期国債ファンド
公社債投資信託・追加型 (設定・運用は日興投信)



東洋証券

■本　店:〒103 東京都中央区日本橋1-20-5 ■電　話:03(274)0211
■全国43支店 ■海　外:ロンドン・ニューヨーク・香港
■資本金[illegible]2,900万円 ■東京・大阪・広島一部上場